

新しい都市ビジョンの アンケート調査報告

昭和49年 2 月



財団法人 日本情報開発協会

は し が き

本調査報告書は、昭和48年10月15日付をもって、「新しい都市に関するビジョンについてのアンケート調査」を集計したものであります。

本調査の目的は、現在都市がかゝえている多様化した問題の解決と、将来の都市の新しいビジョンを実現する為に、この両者をむすぶシステム開発の基礎となる資料を収集するためであります。

私共、日本情報開発協会では、社会が工業化社会より情報化社会へと質的転換がなされつゝあるという基本的認識にたつて、その移行を政策的に行う必要があることを痛感し、民間企業と地方自治体という二つの対象について、現在がかゝえている問題を変遷期の二重化している問題としてとらえ、情報化社会的に解決を政策モジュールとして作成していくとともに、5年後或いは10年後の都市のあるべき姿を情報化社会的ビジョンとしてとらえ、この実現を追求した政策モジュールに結びつけたシステムとして作成する実験を行っております。

地方自治体としては、神奈川県藤沢市をモデル都市としてとりあげ、現在作業進行中であります。

本調査の対象都市は、東京、大阪、横浜の周辺衛星都市20と地方中核都市（人口20万～30万）40とし、アンケートをお願い致しました処、42都市から解答がありました。

周辺衛星都市（A群） 16

藤沢、町田、三鷹、国分寺、武蔵野、大宮、草加、松戸、船橋、昭島、新座、鳩ヶ谷、大和、高尾、八尾、枚方

地方中核都市（B群） 26

函館、旭川、八戸、秋田、山形、福島、宇都宮、富山、金沢、福井、長野、日立、清水、豊橋、岡崎、一宮、豊田、明石、奈良、福山、徳島、高松、大分、宮崎、平塚、川越

即ち、回答率は70%ありました。但し回答到着が予想より大分遅れ、12月中旬になりましたので、集計もおくれ発表が今日になったことは、調査結果に期待された方々に対し大変遺憾であります。本日発送にかえて御報告致

しますので、何卒御諒承下さる様お願い致します。

尚、システム開発完成の暁には都市問題の解決に強力な手段となると思いますので御利用・御活用下さる様お願い致します。

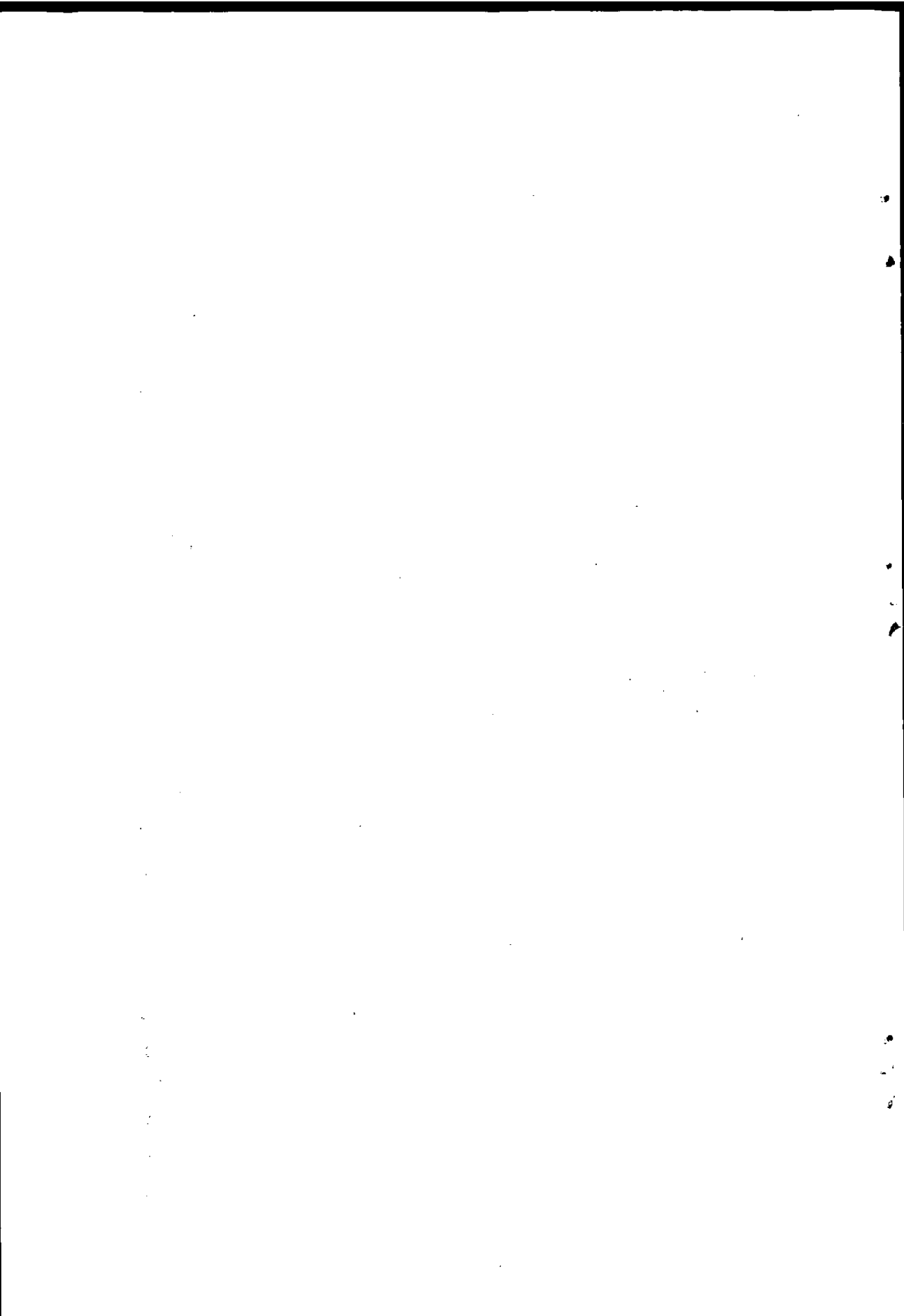
昭和49年2月

(財) 日本情報開発協会

理事長 稲 葉 秀 三

目 次

1. 都市の沿革・特性について	1
1-1 市政施行年・月	1
1-2 人口・特性・人口密度・人口構成・人口流出入	2
1-3 市長・市議会の性格	4
1-4 戦災都市について(附表1参照)	6
1-5 48年度の予算について(附表1参照)	6
1-6 都市性指標について(附表4参照)	7
1-7 独自の部・課について	9
2. 都市の現在の問題点について	10
2-1 現在の問題点について(附表2参照)	10
2-2～5 公害について(附表3参照)	10
2-6 将来の問題点について(附表5参照)	11
2-7～8 シビルミニマムと福祉対策について(附表6参照)	13
3. 都市の新しいビジョンについて	13
3-1～3 都市の長期ビジョンについて(附表7)	13
3-5～10 市民の参加について(附表8参照)	14
3-11・12 市民エゴについて	15
まとめ(附属資料)	17
附表 1	19
附表 2	27
附表 3	31
附表 4	35
附表 5	41
附表 6	45
附表 7	49
附表 8	53
アンケート調査表	57



新しい都市ビジョンのアンケート調査報告

昭和48年10月に実施致しました「新しい都市に関するビジョンについてのアンケート調査」の結果がまとまりましたので報告致します。

今回アンケート調査を実施致しました都市は2群ありまして、

1) 東京・大阪・横浜等の大都市の周辺のベッドタウンと推定される都市 … A群

2) 人口が20万～30万に達している地方中核都市 … B群
であります。これらの都市群のもつ諸問題と新しいビジョンを追求し、その解決策と長期計画の立案基礎となる資料として役立つものと確信します。

誠に残念ではありますが到着が集計に間に合わない為2、3の都市が対象から外れてしまいました。御諒承下されば幸甚です。

1. 都市の沿革・特性について

1-1 市政施行 年・月

明治 22年 4月 山形・福井・秋田・金沢・富山

10月 徳島

23年 2月 高松

29年 4月 宇都宮

30年 4月 長野

31年 2月 奈良

40年 4月 福島

44年 4月 大分

大正 5年 7月 福山・岡崎

8年 11月 明石

10年 9月 一宮

11年 8月 旭川

11年 11月 函館・武蔵野

11年 12月 川越

13年 2月 清水

13年 4月 宮崎

昭和	4年	5月	八戸	
	7年	4月	平塚	
	12年	4月	<u>鉛橋</u>	
	14年	9月	日立	
	15年	10月	<u>藤沢</u>	
	15年	11月	浦和・ <u>大宮</u>	
	18年	1月	<u>高槻</u>	
	18年	4月	<u>松戸</u>	
				終戦
	22年	8月	<u>牧方</u>	
	23年	4月	<u>八尾</u>	
	25年	11月	<u>三鷹</u>	
	26年	3月	豊田	
	29年	5月	<u>昭島</u>	
	33年	2月	<u>町田</u>	
	33年	11月	<u>草加</u>	
	34年	2月	<u>大和</u>	
	39年	11月	<u>口分寺</u>	
	42年	3月	<u>鳩ヶ谷</u>	
	45年	11月	<u>新座</u>	一印 A群

常識的な結果ですがA群が大部分戦後に施行日をもっているのは、大都会に集中する人口増加を周辺地域が吸収していったことを物語るものであります。一方B群は明治・大正・昭和初期までに大部分の都市が集中しています。

これは地方中核都市、既ち、県庁所在地としての行政都市或いは商業中心としての歴史をもっていることを物語っています。

1-2 人口・特性・人口密度・人口構成・人口流出入 … 附表1 参照
人口流出入については解答が少ないので対象外と致しました。

A) 人口について

昭和33年/昭和48年の15年間の人口増加率にA群都市とB群都市と顕著な性格が出ております、既ちA群では、歴史的に古く且つ地域面積の狭い武

蔵野市がすでに飽和状態に達して1.3 倍の増加率にとどまっている以外、すべて約2 倍以上の増加率となり、平均3.02 倍の増加率となつてゐるのに反して、B群では自動車産業都市として異状に増加した豊田を除き2 倍をこえる都市はなく、又比較的增加率の高い平塚、浦和、川越はA群に近いベッドタウンとしての性格が地理的に入つてゐるものと思われまゝ。平均して1.6倍にとどまっています。

既ちA群はB群に対し2 倍の増加率を示していることになります。

B) 都市特性について

この面でもA群とB群に顕著な特性があります。既ちA群では農業都市→住宅都市となつた解答が圧倒的の多く、比較的市政施行日の古い武蔵野・大宮が、すでにその段階よりB群に近い住宅都市→商業都市に変貌している解答をよせています。一方B群では商業、もしくは工業都市としてとどまつており15 年間にその性格をまったく変えてしまつた都市はコンビナート誘致都市以外にはなく、又住宅都市に現在とどまつてゐる都市もありません。

農業 → 住宅 → 産業 → 多核

一つの成長変化パターンがあると思われまゝ。

しかし後項の「都市の成長」で述べますが、すでに上述した成長類型のあるステージで飽和状態に達してしまつた都市が出てきており、その都市は一方においては都市機能が未成熟のまゝおかれてゐる問題に直面しています。

これが新しいタイプの都市問題の一つではないかと思ひます。

C) 人口密度について

A群では人口の急激な増加にともない、人口密度も急激に増加しており、1 平方軒当たり平均5,560 人に達しており、特に武蔵野市では12,000 人となつてゐます。(後述の「都市の成長」参照され度)一方B群では古い歴史をもつ金沢市が8,100 人になつてゐますが平均1,600 人と3 分の1 以下の密度であります、これはA群が急激に成長し飽和状態に達してしまつてゐる。

しかしながら機能的には必ずしもバランスしていないところに問題点があることを示しています。一万地方中核都市は再開発する余裕がまだ十分あることを示しています。

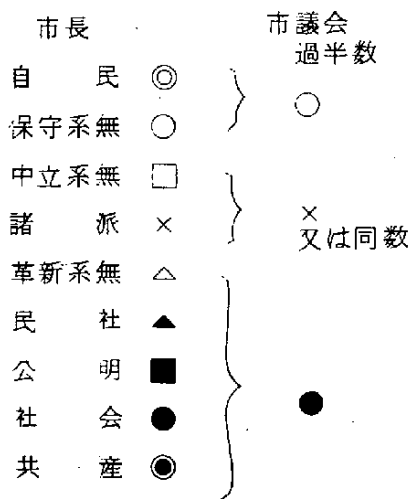
D) 人口構成について

人口の急激な増加は必然的に人口構成にも変化を与えてきております。A群では0才から10才の乳幼児人口がB群より増加しております。既ち20.9% (A群) に対し17.3% (B群) にとどまっております。

これは後述する都市のかゝえる現在の問題点と強い相関があります。

既ち保育園、幼稚園、学校施設不足の問題が重点施策となつている都市はA群 特に20%以上の0～10才人口をかゝえる大部分の都市だからであります。

1-3 市長・市議会の性格



	市長		市議会	
	33年	48年	33年	48年
鳩ヶ谷	○	○	○	○
口分寺	○	△	○	×
昭 島	○	○	○	○
新 座	○	○	○	○
武蔵野	○	●	○	●
大 和				
草 加	○	△	○	○
三 鷹	△	△	○	●
平 塚	○	○	○	○

市長

市会議

	33年	48年	33年	48年
日立	□	□	×	×
川越	○	○	○	○
高崎	○	○	○	○
山形	○	△	○	○
豊田	□	□	×	×
岡崎	○	○	○	○
八戸	◎	◎	○	○
福井	○	□	○	○
明石	○	○		●
奈良	○	○	○	○
一宮	○	○		○
清水	○	○	○	○
福島	△	○	○	○
町田	○	●	○	○
八尾	○	○	○	●
秋田	○	□	○	●
藤沢	○	△	○	○
牧方				
富山	◎	△		○
福山	○	○	○	○
高松	○	△		○
松戸	○	○	○	○
浦和	○	○		
長野	●	◎	○	○
大分	○	○	○	×
高槻	△	△	○	●
宇都宮	◎	◎	○	○

旭 川	◎	●	×	×
金 沢	◎	△	○	○
船 橋	○	◎		
徳 島	○	○	○	○
函 館	◎	◎	○	○
大 宮	◎	●	○	○

地方自治に政治色がどれ程強く反映するか、又政党別にその特色とりわけスローガン・ビジョンに差異があるかどうかを調査する為にアンケートを求めました。

市長についてA群ではその $\frac{1}{2}$ が革新系で占められ、B群では $\frac{1}{5}$ となっています。市議会ではA群では $\frac{1}{4}$ が革新系でありB群では $\frac{1}{13}$ と低い占拠率となっています。

1-4 戦災都市について

…附表1参照

B群はその歴史の古さ、地方中核都市であることよりかなりの都市が戦災を受けていますが($\frac{16}{26}$ 都市)、A群では、わずかに昭島、船橋、三鷹のみであります。

1-5 48年度の予算について

…附表1参照

予算構成は税収入だけではなく国庫補助金その他より成り立っているので、必ずしもその都市の民力を示すものではありませんが、1人当りの予算が大きいことは機能増加にはつながる1つのメジャーであると思います。

A群では5,57万円/人ですがB群では6,104万円/人でありやゝたかくなっておりますが大差ないと云つてよいでしょう。

むしろ豊田・福山等大工業地帯の高額が目立ちます。

1-6 都市性指標について

附表4 参照

都市性を示す代表的指標をとりましたが解答が極端に少ない項を除外して29指標に整理してみました。

附表得点は、各指標について都市性の高い上位より順位をつけたもので、少い点数が都市性の高い目安となるものであります。尚アンケートの解答にもれていた処を当方で調査し補足した点もあり、それが事実と反していることもあるかと存じますので、御諒承の上御証正願います。

A群平均	520・062	29～30位
B群平均	481・615	19～20位
差	38・447	／42都市

都市性を示す指標を、都市の規模・機能・成長の三つの分野にわけ、A群・B群について比較してみました。

数字は得点平均

A) 都市の形態的次元	A	B
1人当り予算額	20.7	21.9
1人当り市民所得	16.5	15.2
大学短大数	22.2	→ 15.5
競輪・競馬	14.9	10.4
交通事故	10.6 ←	22.4
10万当り医者数	25.5	→ 15.2
総合病院数	19.8	19.1
被保護世帯数	21.2	→ 16.8
障害者施設数	17.8	15.4
ねたきり老人数	23.0	→ 18.0
投票率	28.1	→ 15.5

B) 都市の機能的次元

商業従業者率	30.7	→ 15.6
--------	------	--------

	A		B
大企業数	27.9	→	15.7
工場数	28.0	→	14.0
コンビナート数	2.0		2.0
都市銀行数	19.4		19.0
道路数	22.2	→	14.5
鉄道、バス数	9.6 ←		15.2
空港数	9.0	→	5.1
下水道	20.8	→	15.4
上水道	14.8 ←		25.6
都市ガス	12.7 ←		21.3
公園面積	26.7	→	16.3
電話	17.6 ←		22.4

C) 都市の成長的次元

人口増加率	10.3 ←		26.8
農家人口率	11.2 ←		27.2
住宅団地数	21.9	→	14.5
ビックスストア数	16.9 ←		29.8

A) 都市の形態的次元は、都市としての歴史、規模を示すものも含まれております。その都市の政策も強く反能する次元であります。

A・B群を比較してみますと、B群が一般的にA群より上位を占めていることがわかります。

これは都市としての歴史、"年期が入っている"と云う差異からくるものといえそうです。

この次元は、本質的には同質のものでありますから、いずれA群がB群の水準に達するものと思われます。

B) 都市の機能的次元では、A群は衛星都市として大都市との連結、大都市の延長としての機能的発達が目ざましいことを示しています。鉄道・ガス・電話にその光がみえます。

一方B群では地方中核都市、或いは、その都市の特性を示した面に強く反能しています。商業従業者率、大企業数、工場数、道路数がその典型的なものです。

C) 都市の成長的次元では、B群ではすでに成長期をすぎ、バランスのとれた安定期に入っているのに対してA群は、猛烈な成長度を示しています。

A群の最大特性といえましょう。

1-7 独自の部・課について

武蔵野	緑と花の課・健康課
大 和	渉外課(基地担当)・パトロール課
日 立	環境保全部-天気相談所 分析センター(公害関係) 市民活動部-市民活動課 { 市民参加への市民啓発・市民組織化推 進・市民運動の連絡調整
川 越	市民サービス部
福 井	保育課
明 石	生活課・余暇課
奈 良	電話サービスセンター・清美課
清 水	みどり課
町 田	すぐやる課・ひなた村(子供の遊び場づくり)・移動スポーツ車(体育用具をもつて巡回)
松 戸	すぐやる課・しあわせ課・ながいき課
長 野	広聴課市民サービス係 消費者行政係
大 分	自治振興課・緑化推進課
高 槻	環境調整課(生活環境の調整)

旭 川	自治活動部 行政事務近代化推進事務局
金 沢	行政サービス室（すぐやる課） 企業局電気課（多目的ダム発電）
船 橋	市民サービスセンター（なんでもすぐやる課） 健康管理課 老人福祉課
大 宮	同和对策室 学校建設公社・土地開発公社

1-8・1-9は解答が極端に少なかったので対象から外しました。

2 都市の現在の問題点について

2-1 現在の問題点について …… 附表2 参照

保育所・幼稚園を含む公共施設の不備対策が圧倒的に一位を占めて（30/42）より、次に交通対策（19/42）、人口問題（17/42）となっております。財政不均衡・公害・土木施設の順になっており、10以上の解答がありました。

「将来の問題」と比較してみたいと思います。

2-2・2-3・2-4 公害について …… 附表3 参照

公害の種類

河川汚濁	8
騒 音	7
工場公害	6
海水汚濁	4
臭 気	4

の順となっています。

何らかの公害が存在していると25都市が報告してきており、そのうち深刻

化してきている都市7、解決方向に向っている都市17、となつています。

群別にみますとA群は4都市にすぎません。これはA群が大都市のベッドタウン的な環境であることに関係していると思いますし、4都市の公害も大都市的なものといえましょう。

公害対策は

公害防止施設への補助金、資金援助 12

公害規制基準の設定 12

公害監視制度 11

がその主たるものとなつておりおす。

2-6 将来の問題点について

… 附表5 参照

交通対策 20/42

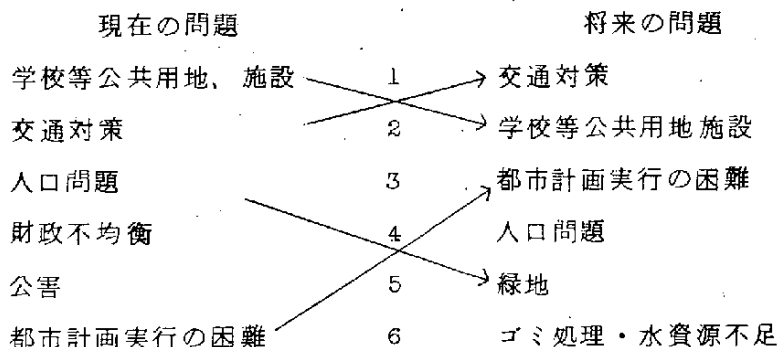
学校等公共用地の確保 16/42

都市計画実行の困難性 14/42

人口問題 8/42

緑地 7/42

の順になつています。これを現在問題となつている点と比較してみますと



既ち、現在上位を占めている問題のうち、公害は前述した如く、何とか解決方向にむかつており、財政不均衡は他の問題にすりかえられてなくなつていますが、残りの4つは依然未解決の問題として残つております。一方将来、問題となつてくるものとして、緑地の確保とゴミ処理、水資源不足があがつてきて

います。

これを群別にみますと

現在の問題	全体	A	B
学校等公共用地施設	30/42	15/30	15/30
交通対策	19/42	1/19	18/19
人口問題	17/42	11/17	6/17
財政不均衡	13/42	9/13	4/13
公害	12/42	4/12	8/12
都市計画実行の困難	11/42	4/11	7/12

既ちA・B共通の問題は公共用地・施設の問題であり、A群特有の問題としては人口抑制等の急激な人口増加対策と、それに帰因する財政不均衡問題といえましょう。一方B群では新しい都市計画が比較的出来にくいところより交通公害・騒害の問題が大きい問題となつてきていますし、都市計画実行の困難性も比重が重くなっています。

将来の問題	全体	A	B
交通対策	20/42	3/20	17/20
学校等公共用地施設	16/42	8/16	8/16
都市計画実行の困難	14/42	4/14	10/14
人口問題	8/42	4/8	4/8
緑地	7/42	4/7	3/7
ゴミ処理	5/42	2/5	3/5
水資源不足	5/42	0/5	5/5

学校等公共用地・施設確保の比率は下がっていますが、依然2位にとどまりA・B群共通の問題となつている。又人口問題はA・B群共通の問題となり、緑地確保も同等のことがいえます。交通対策はB群の問題でしたが依然将来問題としても大きなウエイトを占めています。

又都市計画についても傾向は同等といえましょう。既ちA・B群とも現在問題の傾向が将来問題にも及んでいるといえましょう。

2-7・2-8 シビルミニマムと福祉対策について … 附表6 参照

シビルミニマムを制定している都市は、わずか7市にすぎず、まだ一般化していません。又この概念が革新系市長の都市に特に多いという傾向もあります。しかし今後、各市で定着していく傾向があります。シビルミニマムの内容については解答が少ないので参考の為、よせられた内容を附表で参照して下さい。

シビルミニマムが一般市民の生活権の基準を示すものとすれば福祉政策は、恵まれない環境にいる市民に対する政策といえますが、この面では34の都市の実施解答がありました。心身障害者、老人、遺児、に対する医療費・手当等が中心となつていますが、福祉を更に広げて乳、幼児、妊産婦、市民交通傷害等を対象にしてきたことは喜ばしい傾向であります。

3 都市の新しいビジョンについて

3-1・2・3 都市の長期ビジョンについて … 附表7 参照

		A	B
緑と文化都市の建設	14/42	5	9
都市生活環境整備・計画	18/42	7	11
都市と産業との調和	10/42	2	8
老人福祉政策の充実	8/42	1	7
都市機能の充実	7/42	1	6
都市生活の安定確保	8/42	5	3

緑と文化という理想都市の建設が1位を占めていますが、現実的な問題点の解消というべきものがビジョンとなつているものが多くありました。

都市生活環境のむずかしさの解消、産業特に農業とのジレンマ、都市機能のマヒの回復、都市生活の安全の不安定等が上位を占めています。

老人福祉政策が6位を占めていることは、福祉政策の不充足を示しているものといえましょう。

A・B群の差はこの面ではほとんどみられませんでした。

総括的にいえば現在、将来の都市の問題点のむずかしさをビジョンとして示したものが多いいえましょう。

3-5・6・7・8・9・10

市民の参加について

… 附表8 参照

地方自治に対する市民の参加は今后都市問題の最大の問題となる一つであります。これには2つの面があると思ひます。市当局からの働きかけによるものと、市民側からの働きかけであります。自分達の住む都市は自分達で、自分達の手で何でもしていくという考え、行動に基点があるのですが、それを市当局の指導性で行うか、市民自らの参加運動で行うかの差異であると思ひます。

しかし、日本ではまだその前夜の段階で、今回のアンケートも市当局側の政策決定に対する初歩的な方法についてのみにとどめました。

A) ビジョン作成に対する市民への何らかの働きかけを行つてゐる都市は37都市にのぼつておりますが、意識調査によるものと、市からの積極的パンフレット配布・市長との対話がその代表的方法となつております。

革新系市長都市の $\frac{1}{2}$ が市長との対話をやつてゐると報告されております。

B) このような色々なメディアによる市民の意見の市当局の吸収は、もつばら市当局担当者、或いは市長の立案の参考になつてゐる段階であることがわかりました。

まだ一つの市民の意見として直接反応させる制度になつてゐる都市はありませんでした。現在市議会という間接代表制による決定方法がとられていますが、市民直接代表制を要求する声が重要案件については強くなつてきております。これをどのように取り入れ、解決していくかが今後の問題でしょう。

C) 市当局からの市民の自治への参加促進方法については

市民との懇談会、相談という最も初歩的段階が最も多く13都市となつております。

しかし市民アンケート(11都市)モンロー制度(5)による非参加の内からの意見吸収段階より、ようやく形式的参加段階に入つたことを示すものといえ

ましよう。この段階での市長との対話(6) 市民集会(5) ローリング・システム(4) 等の方法を含めて26都市がこの段階に入つたことを示しています。

実質的参加方法としての市民直接自治方式・市民代表制度に向つて活潑な議論が今後展開していくことが予測されます。

D) 市当局からの市民への自由参加への働きかけとしてローリング・システムが23都市で採用されていますが、計画策定の為の何らかの委員会の設置が16都市で行われています。

この面からの市民代表制が検討されている証拠でしょう。

E) この傾向に対する間接代表制による議会の反応は、これを是として積極的に支援している都市は13、その結果を参考としている都市が10となっています。

今回のアンケートには入れてありませんが市民側からの参加運動も今后重要な方式となると思います。

3-11・12 住民エゴについて

住民エゴのおきている都市と内容をあげますと下記の通りです。

A	新 座	緑の保護・ゴミ処理
A	武蔵野	ゴミ処理
A	大 和	国道バイパス建設
A	草 加	土地区画整理・広域幹線道路建設・日照権
A	三 鷹	ゴミ処理・広域幹線道路建設
B	高 崎(解決済)	ゴミ処理・葬祭センター建設
B	山 形	各種公共施設の立地等
B	明 石	変電所設置
B	奈良	道路整備
A	町 田	車の団地内通過禁止
A	松 戸	コミュニティプラント設置反対・幹線建設
B	長 野	汚水処理場設置・土地区画整理

B	大 分	食肉センター建設
A	高 槻	新用途地域の決定・幹線建設
B	旭 川	ゴミ処理、新空港建設
B	金 沢	ゴミ処理、道路拡張、学校建設

ま と め

地方中核都市といわれるB群—歴史をもち、地方の中核としての特性産業をもち、安定期に入っている都市—と、人口的にもB群にせまり、急成長をつづけるA群とが現在かゝえる問題点と将来のビジョンに何か根本的な差異があるのか、又都市問題の解決のきざしはどの面から起っているかをさぐることが出来るかもしれないという期待をもつて集計致しましたが、結論を下すには、はやいと思いますがいくつかの概念にまとめることが出来ると思います。

1・A・B群の差異を超越して“日本的”といえる都市問題に両群共通して直面しているといえます。

公共用地、施設確保の困難性

交通過密からくる公害

人口急増加からくる財政のアンバランス

人口抑制

諸々の公害

都市計画実行の困難

はすべて、都市面積と人口過密のアンバランスからくるものであります。これはB群といえども共通した問題であるところに“日本的”といえましょう。

さらにこの問題が将来にもつづき、緑の確保さへ困難となり、市民が排き出すゴミをエコロジカルに解決することが困難となり、水すら不足するであろうとうたえています。A群に比較的強く示されていることは、大都市のかゝえる多分同じ問題を強く反映しているといえるでしょう。

それ故、新しいビジョンも、むしろ、現状延長型の困難な問題を、なんとか防止するものが理想となつているわけです。

2・このような困難な問題の解決(?)に3つの兆候があらわれてきています。

1 つは都市自身が自衛的行動をするようになってきたこと、石油危機、物資不足はそれに加速度をかけてきたこと、但し、他の都市に対して、又他の都市の市民にとっては都市エゴになる危険もはらんでいます。

1 つは住民エゴが強くなってきたこと。

1 つは、市当局或いは住民代表からの運動として、市民の市政直接参加が色々な面でおきてきたことであります。

都市問題の解決はこの第3の点、市民の市政に対する参加による都市の再生が最も期待出来る兆候であり、第1、第2は結局は破滅に向かうものといえるのではないのでしょうか。新しいエコロジカルな都市の再生は、都市の市民の決定と行動、それも直接的なものになった場合に始めて期待がもてるのではないのでしょうか。

附 表 の 見 方

附表1 都市の特性及び成長について

第1表

当表は3部にわかれているが印刷ミスにより太線をおこななかったため、1表のようになってしまっているため、利用する場合には

- (1) 都市成長過程 「成長中」～「その他」まで
- (2) 都市の成長要因 「交通網の発達」～「購買力をもつ」まで
- (3) 「成長の必要性」(○)と「不必要の理由」

「人間が…」～「生活レベルの向上」まで

区分してみてください。

尚、(3)の○印は必要性のありと解答のあった市又は必要性の理由を附記された市に記入したものであり、×印は不必要又は不必要の理由を附記された市に記入したもので、合計欄の数はその合計であり、(?)は解答無しの都市数を示したものです。

附表2 現在の都市の問題点

- (1) 市名にAを記入してあるのは印刷ミス
- (2) ○印は当該解答の記入
- (3) 合計欄で0解答のある項目があるのは他の目的で利用したものですから、抹消して利用して下さい。

附表3 公害関係

当表は4部門に分かれていますので、利用される場合留意してみてください。

- (1) 公害の種類
- (2) 深刻化傾向 ○印は深刻化している都市
「解決傾向」は解決に向かっている都市
無印は解答なしを示します。
- (3) 公害対策
「公害防止条令…」～「原因者負担」まで
- (4) 公害住民運動 ○印は運動のある都市
ナシ印は運動のない都市
無印は解答なし

附表4 実数値及び得点表

- (1) 「順位」は合計得点の低い順位
- (2) 「実数値」の単位は下位欄に示してある単位で、ないものは実数を示す。
- (3) 「得点」は都市性の高い順位に実数値を評価したもの。

附表5 将来の都市の問題点

- (1) ○印は当該解答の記入
- (2) 合計欄に0解答とある項目は他の目的で利用したものですから、利用される場合に不必要でしたら抹消して下さい。

附表6 シビルミニマムと福祉政策

当表は2部門に分かれています。

- (1) シビルミニマムの「制定の有無」○印制定あり×印なし
各項目はその内容項目で○印は解答のあった都市を示します。
- (2) 「福祉政策」 ○印・あり ×印・なし
「心身障害者助成条例」～「福祉会館」まで、合計欄の「？」は解答なしを示す。

附表7 都市のビジョンについて

- (1) ○印は当該解答を示します
- (2) 合計欄の0解答とある項目は他の目的で利用したものですから利用される場合に不必要でしたら抹消して下さい。

附表8 市民参加について

当表は5部門に分かれていますので利用される場合留意してみてください。

- (1) ビジョン作成への市民参加
「PRパンフレット」～「やっていない」まで
- (2) 利用方法
「市長の立案参考」～「その他」まで
- (3) 市民参加方法
「市民アンケート」～「ローリングシステム」まで
- (4) ローリングシステム
×印はローリングシステムをしていない都市
「方法」の○印は「市民アンケート」から「委員会設置」までの各項目について当該方法でローリングシステムを行っている都市を示す。
- (5) 市議会意志
「積極的」から「その他」まで

1947年

1月

1月1日

1月2日

1月3日

1月4日

1月5日

1月6日

1月7日

1月8日

1月9日

1月10日

1月11日

1月12日

1月13日

1月14日

1月15日

1月16日

1月17日

1月18日

1月19日

1月20日

1月21日

1月22日

1月23日

1月24日

1月25日

1月26日

1月27日

1月28日

1月29日

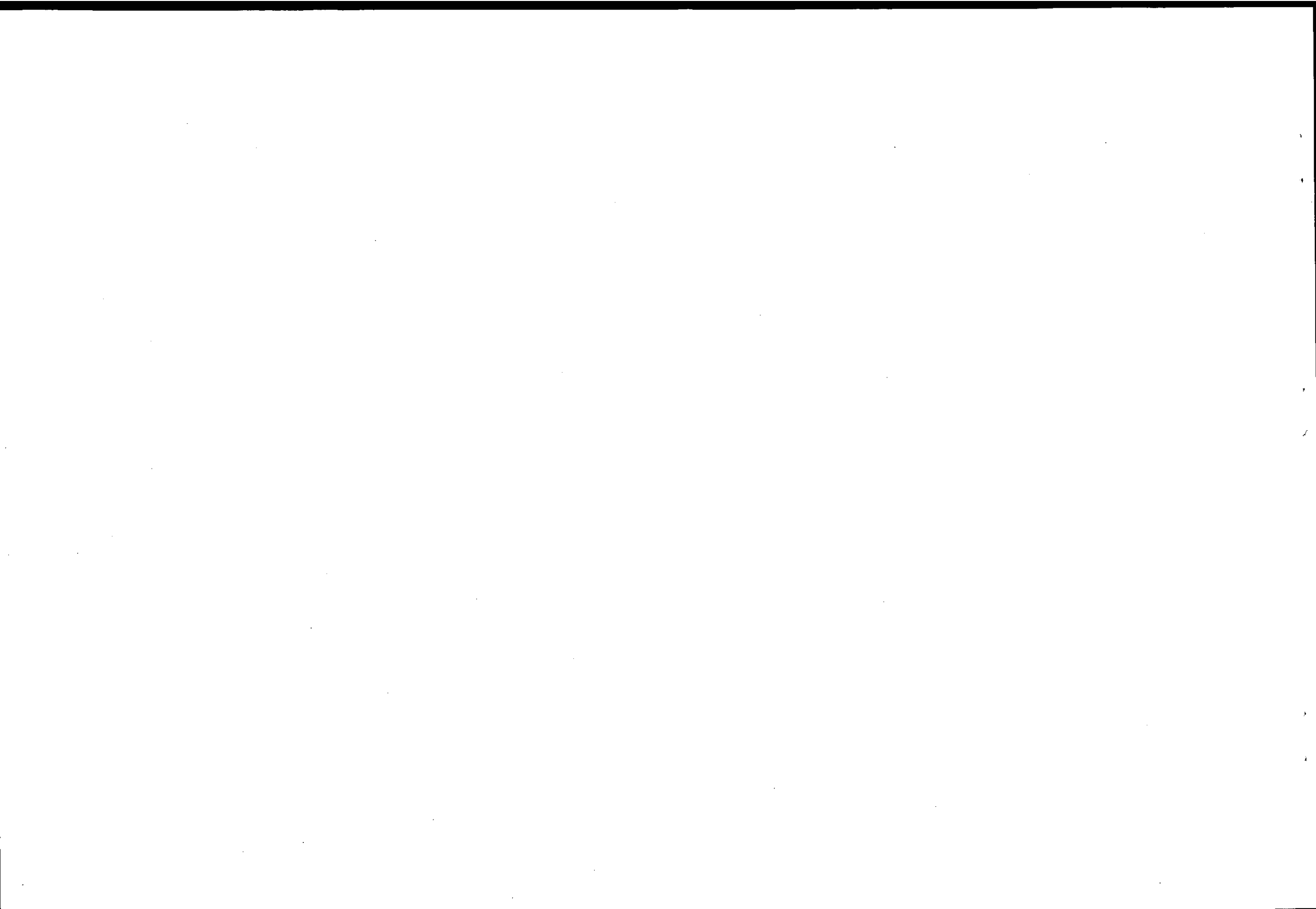
1月30日

1月31日

都市の特性及び成長について

附表 1

都市成長過程	鳩ヶ谷	国分寺	昭島	新座	武蔵野	大和	草加	三鷹	平塚	日立	川越	宮崎	山形	豊田	岡崎	八戸	福井	明石	奈良	一宮	清水	福島
成長中			○	○			○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○		○
安定に指向		○				○							○									
飽和状態	○				○			○		○												
低滞期に入っている																					○	
成長以前																						
その他																						
都市の成長要因																						
交通網の発達		○	○		○				○		○				○	○	○		○			○
地理的条件		○	○	○							○											
人口の適正配置	○																				○	
住宅の増加		○																				
人口増加					○		○					○		○								
産業の健全な発展									○			○	○	○	○	○	○				○	○
行政機関の適正配置									○	○										○		
開発万能空間の存在																			○			
社会資本の拡充																					○	
豊富な労働力																						
購買力(消費力)をもつ																						
成長の必要性(○)			○									○		○								
不必要の理由(×)													×						×			
人間が住むに値する環境を保ち得ない	×	×					×								×							
都市としての完成				○	○					○												
人口増加に伴う財政負担								×			×							×				
都市機能の集積必要																○	○					
適正な都市規模の確保																						○
公共施設の不足																						
生活レベルの向上																						



附表 1

都市成長過程	町田	八尾	秋田	藤沢	枚方	富山	福山	高松	松戸	浦和	長野	大分	高槻	宇都宮	旭川	金沢	船橋	徳島	函館	大宮	合計
成長中		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		31
安定に指向				○																○	5
飽和状態	○																				5
低滞期に入っている																					1
成長以前																					
その他																					
都市の成長要因																					
交通網の発達								○			○						○	○	○	○	16
地理的条件										○	○				○	○		○		○	10
人口の適正配置																					2
住宅の増加	○																				2
人口増加						○		○						○			○		○		9
産業の健全な発展						○						○									11
行政機関の適正配置												○								○	5
開発万能空間の存在																		○	○		3
社会資本の拡充														○							2
豊富な労働力			○																		1
購買力(消費力)をもつ			○																		1
成長の必要性(○)						○												○	○	○	(○)17(×)10
不必要の理由(×)																					(?)15
人間が住むに値いする環境を保ち得ない																					4(×)
都市としての完成			○					○								○				○	7(○)
人口増加に伴う財政負担ロス																					3(×)
都市機能の集積必要																					2(○)
適正な都市規模の確保																			○		2(○)
公共施設の不足	×																				1(×)
生活レベルの向上												○									1(○)

附表 1

	鳩ヶ谷	国分寺	昭島	新座	武蔵野	大和	草加	三鷹	平塚	日立	川越	宮崎	山形	豊田	岡崎	八戸	福井	明石	奈良	一宮	清水	福島
A・B群列	A	A	A	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
単位																						
S33 人口(万)	1.7	3	4.1		10	3.5	3	8	10	15	10.8	15	18.4	4.3	16	16	14	12.5	13	17		13.7
48 "	5.6	8	8.1	9.7	13	13.2	15	15.5	18	20	20.3	21	21.1	22	22	22	22.4	22.6	23	23		23.7
倍率	3.39	2.66	2.0		1.3	3.77	5.0	1.93	1.8	1.33	2.0	1.40	1.14	5.11	1.37	1.37	1.60	1.80	1.76	1.35		1.72
S33 人口密度	0.27	0.28	0.24		0.9		0.11	0.5	0.15	0.09	0.09	0.06	0.05	0.03	0.07	0.07	0.13	0.26	0.06	0.22	0.25	0.05
S48 "	0.90	0.73	0.47		1.2		0.54	0.9	0.26	0.13	0.18	0.07	0.05	0.08	0.09	0.10	0.07	0.48	0.11	0.29	0.10	0.03
特性	農一住	農一住	工一 工・住	農一住	住一商	?-工	農一住	住一住	商業一 工商業	工・鉦一 工・鉦	農・商一 工商住	農一商	商一商	工一工	標準一 標準	工一工	商工一 商工	農・住一 工住	観・住一 観・住	工一工	港湾工業	農・商・住 一商観
0~10	24	18.0	18.6	22.4	15.9		24.2	14.72	18.8	20.6	19.9	16	16.6	19.6	18.6	21.2	19.6	15.2	17.8	18	17.6	17.5
11~20	13	13.9	13.1	12.7	13.2		13.1	13.55	14.1	16.3	16.1	18	17.6	14.6	17.8	16.7	14.8	14.7	13.4	25	15.8	18.3
21~30	22	24.0	21.4	13.5	25.5		24.2	25.16	21.9	21.6	21.7	19	16.4	27.0	19.9	18.5	17.4	18.0	20.4	21	20.2	17.0
31~40	20	17.1	17.9	22.1	16.3		20.6	16.77	17.7	16.2	17.0	16	15.8	16.7	15.5	17.1	15.2	15.2	18.0	14	17.2	15.7
41~50	10	12.7	12.5	8.5	12.5		8.3	12.26	11.8	10.5	10.4	13	13.8	8.9	11.4	12.4	13.4	13.8	12.1	8	12.3	13.3
51~60	6	7.2	7.5	5.1	7.9		5.1	7.74	7.5	7.9	7.4	8	8.9	6.0	8.1	7.1	9.3	9.7	8.1	7	7.8	8.5
61以上	5	7.1	16.5	15.7	8.7		4.5	7.10	8.2	6.9	7.5	10	10.9	7.2	8.7	7.0	11.3	13.4	10.2	7	9.1	9.7
戦災																						
全部			○						○	○		○			○		○					
一部		○		○	○			○								○		○		○	○	
ほとんど	○					○	○				○			○								
皆無													○						○			○
予算(億)																						
税	9	28	21	18	54	32	33	56	56	51	44	39	48	112	60	43	51	51	58	40	58	43
国庫	3	6	8	6	5	10	5	17	10	18	9	8	7	16	5	9	22	29	23	11	6	18
その他	12	10	25	29	14	22	29	25	31	32	28	64	42	65	51	68	71	38	55	37	51	50
計	24	44	54	54	73	64	67	98	97	101	81	111	97	193	116	120	144	118	136	88	115	111
人口当り予算(万)																						
	4.3	5.5	6.7	5.6	5.6	4.9	4.5	6.3	5.4	5.0	4.0	5.3	4.6	8.8	5.3	5.5	6.4	5.2	5.9	3.9	-	4.7

附表 I

	町 田	八 尾	秋 田	藤 沢	枚 方	富 山	福 山	高 松	松 戸	浦 和	長 野	大 分	高 槻	宇都宮	旭 川	金 沢	船 橋	徳 島	函 館	大 宮	合 計
A・B群列	A	A	B	A	A	B	B	B	A	B	B	B	A	B	B	B	A	B	B	A	
単位																					
S33 人口(万)	6.3	11.2	19	12	6.6	17.8	18	22	7	15	15.6	21	7.2		18	29.5	13	17.9	24.9	16	
48 #	24	24.1	25	25	26.8	28	28	28.9	29	29	29.9	30	30.5	31	31	37.3	39	22.9	23.2	30	
倍 率	3.80	2.15	1.31	2.1	4.06	1.57	1.55	1.31	4.14	1.93	1.91	1.42	4.23		1.7	1.26	3.0	1.2	0.93	1.9	
S33 人口密度		0.27	0.04		0.1	0.17	0.08	0.14	0.12	0.28	0.1	0.06	0.07	0.07	0.05	0.75		0.113	0.113	0.17	
S48 #	0.32	0.58	0.05	0.36	0.4	0.13	0.13	0.15	0.49	0.41	0.07	0.08	0.29	0.10	0.04	0.81	0.4	0.122	0.091	0.33	
特 性	住-住	農・住- 住工	農-行	-住	農業-住宅	商工・ 商工	商業-工業	商・観・ 中枢・管理	農-住	住文- 住文	行-行	農 行 - 農工商行	農-住	商・工- 工商行	田商- 田商	商観行- 商観行	農業水産 -商業住宅	商・行政 -商・行政	水産 水産 商業 商業 観光	住-商業	
0~10	23.1	21.0	17.0	21.3	23.23	17.8	19.1	17.0	23	18.2	18	17.9	24	18.7	18.3	17.6		16.7	16.2	20	
11~20	12.8	14.4	18.4	12.6	12.14	14.2	15.9	15.4	13	13.6	15	17.5	12	16.7	18.1	14.6		16.7	19.7	15	
21~30	20.4	22.7	18.0	20.4	23.07	18.4	19.2	18.2	24	22.4	17	18.7	22	19.7	19.6	20.5		18.2	17.5	22	
31~40	22.4	17.5	16.9	18.8	19.20	16.0	16.2	16.6	20	18.2	15	16.0	20	16.3	17.6	14.9		16.1	15.1	17	
41~50	10.8	10.4	13.3	11.9	10.67	13.2	11.9	13.6	9	11.7	14	12.5	10	12.0	11.9	12.4		12.9	13.0	11	
51~60	5.8	7.0	8.4	6.9	5.72	9.8	8.0	9.0	6	7.6	10	8.4	6	8.2	7.9	9.2		9.1	9.2	8	
61以上	6.1	7.0	7.9	7.9	5.97	10.6	9.1	10.2	5	8.3	11	9.0	6	8.4	6.6	10.8		10.3	9.3	7	
戦 災																					
全 部						○	○	○										○	○		11
一 部												○		○			○				11
ほとんど	○	○	○		○					○	○				○					○	13
皆 無				○					○				○			○					7
予 算 (億)																					
税		64	60	95	76	79	109	78	66	55	64	85	78	81		112	81	50.9	50	74.9	
国 庫		30	18	16	22	19	15	26	6	10	22	41	22	34		34	18	9.9	50	10.1	
そ の 他		66	49	61	150	48	110	49	78	55	80	69	115	81		79	121	86.9	76	43.9	
計		160	127	172	248	146	234	153	150	115	166	195	215	196		225	220	147.7	176	128.9	
人口当り予算(万)																					
		6.7	5.1	6.9	9.3	5.2	8.4	5.3	5.2	4.0	5.6	6.5	7.1	6.3		6.0	5.6	6.5	7.6	4.3	

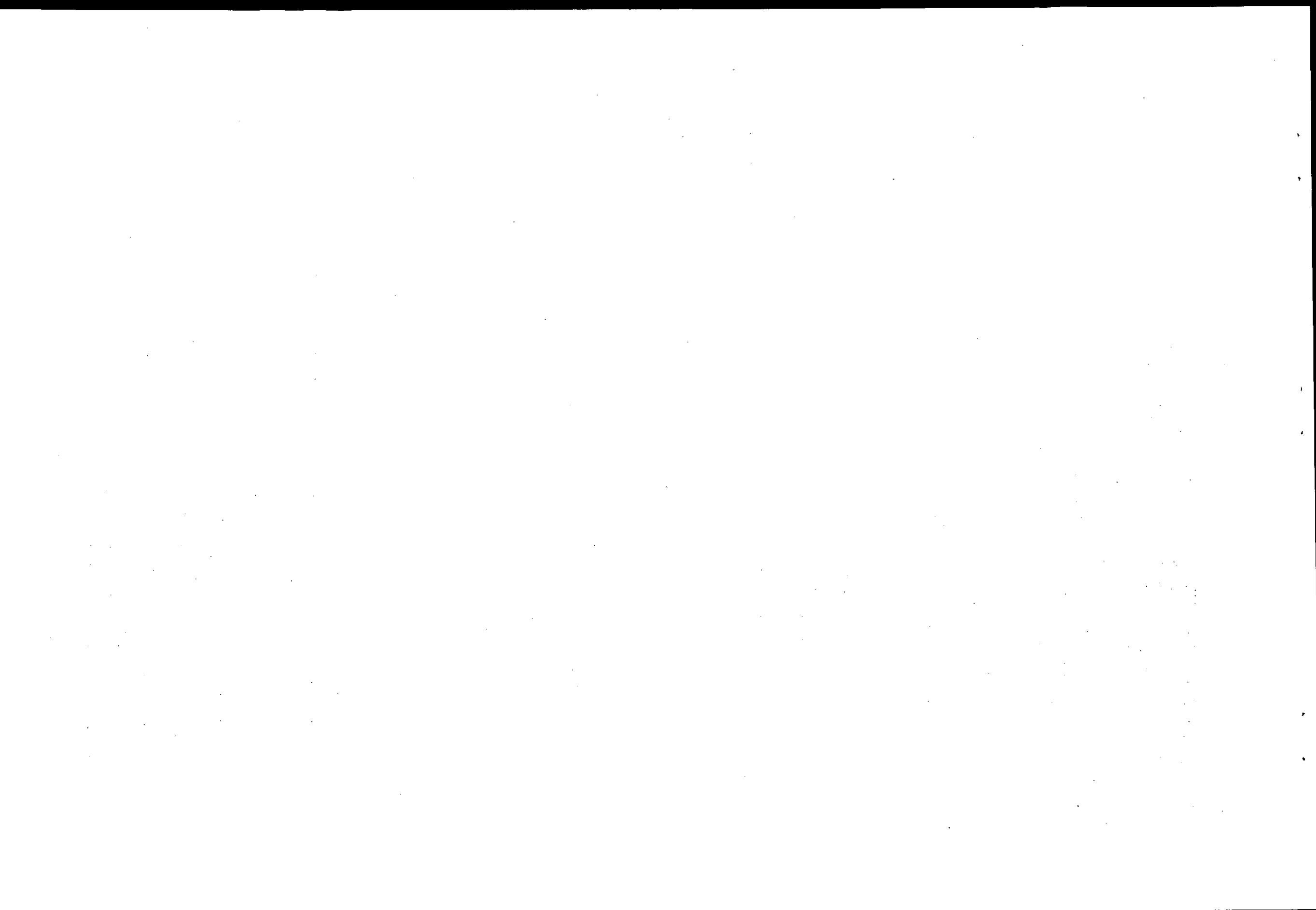
現在の都市の問題点

附表 2

	鳩ヶ谷A	国分寺A	昭島A	新座A	武蔵野A	大和A	草加A	三鷹A	平塚	日立	川越	宮崎	山形	豊田	岡崎	八戸	福井	明石	奈良	一宮	清水	福島
下水処理																						
教育施設の不備				○						○												
交通混雑・交通公害										○		○	○		○	○	○			○	○	
公園、緑地不足																						
保育園・幼稚園	○	○	○			○		○	○		○		○	○	○			○				○
新庁舎(市民センター)					○																	
ごみ処理					○														○			
公共用地							○										○					
道路整備(土木施設)		○	○								○	○				○						○
河川・海汚染その他(公害)			○					○	○	○						○	○				○	
流通機構																						
地域再開発																						
市立病院(救急医療、その他医療不足)																					○	
物価(土地)															○					○		
駅前広場																						
人口抑制	○			○		○	○		○		○			○					○			
用舎地域の管理																						
市民の市財政への不理解																						
シビルミニマムの設定																						
余暇対策を抜本的に																						
歯科医の予防制																						
公害住宅の積極的確保																						
市営住宅不足(住宅不足)																		○				
特別養護老人ホーム																						
事務繁雑化																						
財政不均衡	○	○		○		○	○	○										○		○		○
住民エゴ																			○			
事務の繁雑化												○	○									
米軍施設跡地					○																	
新空港建設																						

附表 2

	町田A	八尾A	秋 田	藤沢A	牧方A	富 山	福 山	高 松	松戸A	浦 和	長 野	大 分	高槻A	宇都宮	旭 川	金 沢	船橋A	徳 島	函 館	大宮A	計	A	B
下 水 処 理																					0	0	0
教育施設の不備	○																				3	2	1
交通混雑・交通公害			○			○	○	○		○	○	○		○		○		○		○	19	1	18
公園、緑地不足	○																				1	1	0
保育園・幼稚園		○		○	○	○	○	○	○	○			○				○	○	○	○	25	12	13
新庁舎(市民センター)																					1	1	0
ごみ処理			○								○										4	1	3
公共用地																					2	1	1
道路整備(土木施設)		○							○						○			○	○		11	4	7
河川・海汚染その他(公害)				○		○	○					○	○								12	4	8
流通機構																					0	0	0
地域再開発																					0	0	0
市立病院(救急医療・その他医療不足)																					1	0	1
物価(土地)																					2	0	2
駅前広場																					0	0	0
人口抑制	○			○	○				○	○		○	○				○			○	17	11	6
用舎地域の管理																					0	0	0
市民の市財政への不理解																					0	0	0
シビルミニマムの設定																					0	0	0
余暇対策を抜本的に																					0	0	0
歯科医の予防制																					0	0	0
公害住宅の積極的確保																					0	0	0
市営住宅不足(住宅不足)														○							2	0	2
特別養護老人ホーム																					0	0	0
事務繁雑化																			○		1	0	1
財政不均衡		○			○										○		○				13	9	4
住民エゴ																○					2	0	2
事務の繁雑化														○							3	0	3
米軍施設跡地																					1	1	0
新空港建設															○						1	0	1



公 害 関 係

附表 3

公 害 の 種 類	牧 方	平 塚	福 山	高 松	川 越	国分寺	富 山	清 水	昭 島	福 島	豊 田	武蔵野	岡 崎	秋 田	日 立	浦 和	大 和
騒 音		○					○		○						○		
排 気 ガ ス		○														○	
地 盤 沈 下		○															
工 場			○												○		
河 川							○	○	○						○		
海 水								○							○		
大 気								○									
臭 気																	
ヘ ド ロ																	
深 刻 化 傾 向	○	○	○			解決傾向	○	解決傾向	○		解決傾向		解決傾向	解決傾向	解決傾向	○	解決傾向
公 害 対 策																	
公害防止条令による工場設置許可制	○							○(立入)	○								
光化学スモッグ被害者救済制度	○																
公害監視(モニター)制度	○		○			○					○	○	○	○			
公害防止施設設置資金補助	○		○					○			○						
行 政 指 導		○															
規 制 基 準 設 置				○	○		○	○		○			○				
罰 則 規 定				○						○							
市 民 健 康 検 診								○									
市 環 境 保 全 条 令									○								
大工場との公害防止協定									○								
企業への公害防止計画提出命令										○	○		○	○	○		
公 害 専 門 機 構														○			
歩道整備、スクールゾーン																○	
市 ・ 県 条 令																	○
苦 情 処 理																	
無 過 失 賠 償 責 任 制 度																	
原 因 者 負 担																	
公 害 住 民 運 動	○	○(新幹線騒音)	○	○	ナシ	-	○	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	○	○	ナシ	○	○	ナシ

附表 3

公害の種類	三 鷹	山 形	福 井	大 分	宇都宮	金 沢	八 尾	明 石	藤 沢	高 槻	八 戸	旭 川	徳 島	函 館	大 宮	合 計
騒 音			○							○	○					7
排 気 ガ ス																2
地 盤 沈 下																1
工 場	○		○							○	○					6
河 川			○	○					○		○					8
海 水				○							○					4
大 気																1
臭 気	○		○							○	○					4
ヘ ド ロ				○							○					2
深 刻 化 傾 向	○	どちらとも いえない	解決傾向	解決傾向	解決傾向		解決傾向	解決傾向	解決傾向	解決傾向	解決傾向	解決傾向		解決傾向		
公 害 対 策																
公害防止条令による工場設置許可制																3
光化学スモッグ被害者救済制度																1
公害監視(モニター)制度	○		○		○							○				1 1
公害防止施設設置資金補助	○	○			○				○		○	○		○	○	1 2
行 政 指 導								○	○							3
規 制 基 準 設 置			○	○		○			○	○					○	1 2
罰 則 規 定						○	○									4
市 民 健 康 検 診																1
市 環 境 保 全 条 令								○								2
大工場との公害防止協定		○														6
企業への公害防止計画提出命令																1
公 害 専 門 機 構					○											2
歩道整備、スクールゾーン																1
市 ・ 県 条 令										○	○	○				4
苦 情 処 理	○						○									2
無過失賠償責任制度				○												1
原 因 者 負 担				○												1
公 害 住 民 運 動	○	○	ナ シ	○	○	ナ シ	ナ シ	○	○	○	可能性	○				

実数値及び得点表

附表 4

(左:実数値、右:得点)

順位	都市名	合計得点	投票率		予算額／総人口		人口増加率		1人当り市民所得額		農家人口率		商業従事者率		住宅団地数		大企業数		工場数		
1	金 沢	374	77.35	12	6.08	15	130	36	—		8.4	21	12.4	14	3	25	42	1	1935	6	
2	函 館	395	74.30	19	7.55	4	96	41	54.6	14	1.1	1	27.1	4	1	32	20	12	925	16	
3	奈 良	408	74.09	20	5.91	16	177	21	66.3	5	10.1	23	6.0	30	—		19	14	1326	9	
4	福 井	410	86.00	2	6.57	9	160	25	50.6	21	23.4	36	12.0	15	15	7	25	4	2343	3	
5	清 水	439	75.00	17	4.79	33	180	18	62.2	8	14.0	27	9.88	23	13	8	18	15	1393	8	
6	旭 川	442	77.90	11	6.32	14	170	23	47.3	24	9.2	22	27.7	3	2		20	12	—		
6	秋 田	442	78.85	7	5.12	30	132	34	57.7	11	13.4	26	11.6	18	12	9	10	25	657	24	
8	富 山	450	74.09	20	5.21	27	156	26	61.0	9	10.1	23	6.0	30	—		19	14	1326	9	
9	高 松	467	72.00	23	5.28	25	132	34	52.4	17	22.2	34	33.3	2	7	15	25	4	2015	5	
10	大 分	474	86.60	1	6.50	12	143	28	53.0	15	22.7	35	18.4	10	43	3	14	20	964	14	
11	宇都宮	477	82.70	3	6.53	10	130	36	62.4	7	18.4	30	19.0	9	5	19	13	22	1319	10	
12	長 野	478	81.30	6	5.53	19	191	16	—		26.8	39	11.7	16	56	1	39	2	1070	13	
12	平 塚	478	75.70	15	5.39	22	180	18	9.6	28	—		9.6	24	8	13	24	7	813	21	
14	福 山	482	76.60	13	8.36	3	156	26	68.0	4	20.9	33	11.2	19	7	15	8	32	3080	2	
15	明 石	483	55.40	39	5.14	29	180	18	—		6.0	13	22.7	6	4	21	21	11	723	22	
16	宮 崎	496	74.50	18	5.29	24	140	29	50.1	22	11.0	25	12.9	13	28	5	12	23	445	30	
17	山 形	501	78.50	10	4.63	34	115	40	50.0	23	23.0	36	11.7	16	7	15	10	25	1493	7	
18	一〇宮	505	78.64	8	3.83	41	135	32	52.4	17	16.0	29	21.0	8	54	2	24	7	5684	1	
19	福 島	507	82.15	4	4.63	35	173	22	53.6	16	25.9	38	9.9	22	10	10	23	9	921	17	
20	浦 和	522	62.76	31	3.97	40	193	15	—		4.7	10	10.5	21	3	25	3	36	—		
21	徳 島	534	63.90	29	6.45	13	122	39	56.1	12	16.3	30	24.2	5	0	34	32	8	1303	11	
22	八 戸	537	57.10	38	5.48	21	140	29	45.3	25	14.3	28	34.3	1	4	21	14	20	833	20	
23	岡 崎	540	75.24	16	5.27	26	138	31	—		18.4	30	18.0	11	10	10	15	18	2216	4	
24	川 越	545	64.30	28	4.50	36	170	23	51.6	20	20.5	32	6.7	27	8	13	11	24	921	17	
25	日 立	559	81.60	5	5.05	31	135	32	—		7.5	18	6.4	29	2	28	1	41	868	19	
26	豊 田	577	78.53	9	8.77	2	510	1	93.0	1	25.0	37	5.9	32	40	4	29	3	933	15	
			(%)		(万円/1万人)		$\frac{S48}{S33} \times 100$		(万円)		(%)		(%)								

附表 4

(左：実数値、右：得点)

順位	都市名	コンビナート数		ビッグストア数		都市銀行数		大学短大数		競輪場・競馬場数		道 路		鉄 道・バ ス		空 港 数		下水道排水率	
1	金 沢	0	2	7	12	6	16	5	7	1	5	4	2	3	4	1	1	11.5	30
2	函 館	0	2	0	40	4	28	5	7	2	3	4	2	2	28	1	1	59.6	6
3	奈 良	0	2	6	19	29	1	7	1	3	1	2	12	3	4	0	9	29.7	19
4	福 井	0	2	6	19	2	33	5	7	1	5	0	35	3	4	0	9	44.3	10
5	清 水	0	2	11	5	28	2	1	34	0	19	4	2	3	4	0	9	15.4	25
6	旭 川	0	2	7	12	6	16	4	10	1	5	3	7	2	28	1	1	15.4	25
6	秋 田	0	2	13	2	2	33	4	10	0	19	2	12	2	28	1	1	57.3	8
8	富 山	0	2	6	19	12	8	3	15	1	5	2	12	3	4	1	1	57.0	9
9	高 松	0	2	3	34	6	16	3	15	1	5	2	12	3	4	1	1	37.9	12
10	大 分	1	1	5	24	3	29	4	10	1	5	1	23	2	28	0	9	14.4	28
11	宇都宮	0	2	8	9	6	16	3	15	2	3	2	12	3	4	0	9	28.0	20
12	長 野	0	2	7	12	6	16	6	5	0	19	3	7	3	4	0	9	69.0	4
12	平 塚	0	2	8	9	6	16	1	37	1	5	2	12	2	28	0	9	11.0	32
14	福 山	0	2	4	31	3	29	2	22	1	5	2	12	2	28	0	9	34.0	15
15	明 石	0	2	2	38	5	25	2	22	0	19	0	35	3	4	0	7	6.8	33
16	宮 崎	0	2	—		14	5	2	22	1	5	4	2	2	28	1	1	31.0	18
17	山 形	0	2	7	12	2	33	2	22	0	19	0	35	2	28	0	9	23.9	21
18	一の宮	0	2	3	35	5	25	1	34	1	5	4	2	3	4	0	9	85.2	2
19	福 島	0	2	5	24	7	14	4	10	1	5	1	23	3	4	0	9	20.1	23
20	浦 和	0	2	4	31	8	12	2	22	1	5	3	7	2	28	0	9	64.9	5
21	徳 島	0	2	5	24	2	33	7	1	0	19	2	12	2	28	0	9	33.9	16
22	八 戸	0	2	5	24	—		2	22	0	19	2	12	2	28	1	1	—	
23	岡 崎	0	2	11	5	3	29	3	15	0	19	3	7	3	4	0	9	33.3	17
24	川 越	0	2	8	9	17	4	3	15	0	19	1	23	3	4	0	9	59.0	7
25	日 立	0	2	5	24	18	3	2	22	0	19	0	35	3	4	0	9	35.1	14
26	豊 田	0	2	5	24	2	33	2	23	0	19	1	23	2	28	0	9	—	—

(%)

(左:実数値、右:得点)

順位	都市名	上水道普及率		都市ガス普及率		1人当り公園面積		電話普及率		交通事故発生率		人口10万人当り医者数		総合病院数		被保護世帯数		心身障害者充足率		ねたきり老人対策	
1	金沢	93.6	17	49.9	11	4.63	5	78.0	7	1.1	30	307	3	13	4	1.8	21	7.4	6	16.8	17
2	函館	98.4	9	31.6	18	12.9	2			0.62	17	151	14	5	14	3.7	12				
3	奈良	95.0	15	75.3	4	22.50	1	80.0	4	0.8	20	194	7	2	30	1.7	22	1.0	26	14.0	13
4	福井	97.8	13	60.0	9	4.57	6	75.4	8	0.58	15	170	9	3	20	1.2	28	—		58.0	36
5	清水	93.5	18	—		0.41	37	62.0	23	0.11	2	137	20	3	20	—		30.0	1	31.3	27
6	旭川	70.0	42	27.9	21	11.50	3	60.0	24	0.4	3	—		4	15	2.6	16	0.08	32	13.5	11
6	秋田	88.3	26	91.0	1	5.27	4	50.8	34	0.6	16	181	8	4	15	2.11	19	2.0	19	6.0	1
8	富山	86.0	32	39.9	14	—		50.0	35	0.8	20	137	20	4	15	13.8	3	0.5	25	15.5	14
9	高松	83.4	37	18.7	31	3.69	7	68.0	17	0.9	22	167	10	6	12	1.5	24	1.4	24	25.0	23
10	大分	91.2	23	25.9	23	2.5	12	41.7	38	1.00	28	124	24	3	20	2.60	16	7.0	7	10.0	4
11	宇都宮	87.0	29	8.8	35	2.80	10	51.3	33	1.20	32	—		2	30	1.2	28	—		10.0	4
12	長野	93.7	16	24.41	25	0.76	34	44.0	37	0.62	17	132	23	1	35	1.42	27	1.69	22	43.2	32
12	平塚	91.8	22	32.0	17	1.5	25	74.9	9	0.97	27	140	16	9	7	6.8	10	3.0	16	36.25	29
14	福山	86.8	30	—		2.1	16	70.0	15	1.3	34	107	25	4	15	3.0	14	20.0	4	13.0	9
15	明石	99.9	2	39.3	15	0.02	40	80.6	3	0.1	1	140	16	5	11	—		5.6	11	10.0	4
16	宮崎	88.0	27	25.0	24	2.42	14	19.9	41	0.94	26	167	10	3	20	18.81	1	26.0	3	41.27	31
17	山形	92.8	21	14.8	34	3.2	9	67.7	18	0.4	3	470	1	6	12	10.1	4	20.0	4	13.0	9
18	一の宮	85.4	33	27.0	22	1.6	22	56.5	31	1.3	34	105	26	9	7	6.8	10	—		163.30	38
19	福島	75.5	40	19.3	30	1.9	20	62.1	21	0.9	22	219	5	3	20	1.7	22	—		—	
20	浦和	80.6	39	40.0	13	0.87	33	63.3	20	0.9	22	231	4	16	1	9.3	1	0.67	28	—	
21	徳島	85.0	34	22.6	27	2.39	15	71.9	13	1.00	28	356	2	3	20	2.7	15	11.6	23	—	
22	八戸	91.1	24	8.8	35	2.43	13	53.2	32	0.5	13	140	16	2	30	2.51	18	6.7	9	16.6	16
23	岡崎	83.5	36	24.2	26	3.40	8	58.0	27	1.8	38	15	36	1	35	0.2	37	2.0	19	10.7	8
24	川越	84.8	35	16.0	33	0.96	31	67.0	19	1.5	37	211	6	0	42	10.0	4	0.5	29	30.0	25
25	日立	86.4	31	36.8	16	1.45	26	71.4	14	1.1	30	77	31	3	20	—		30.0	1	15.73	15
26	豊田	97.8	13	22.0	28	2.1	16	32.0	39	1.4	36	53	34	2	30	0.3	36	—		37.4	30

(%)

(%)

(㎡/1人)

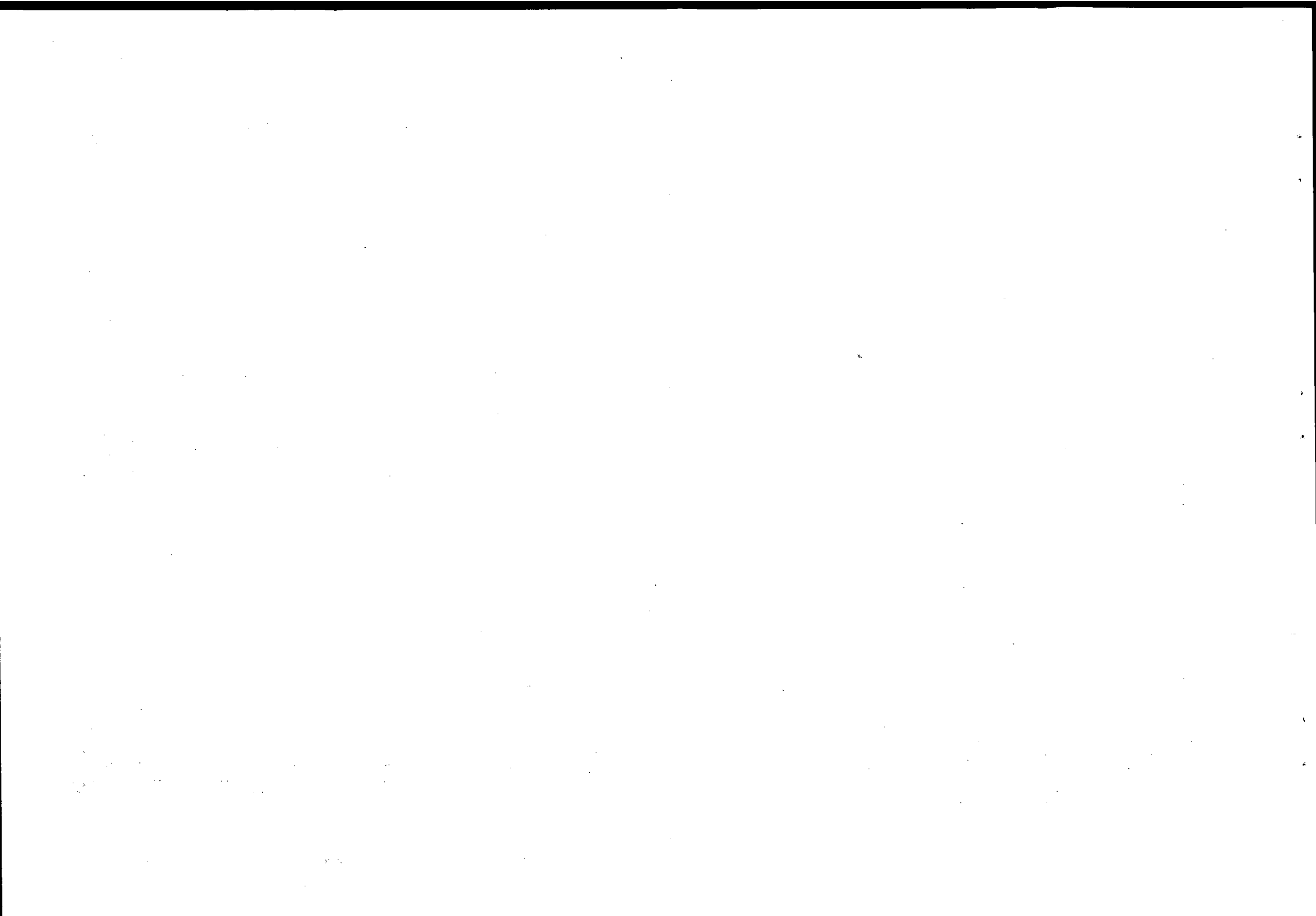
(%)

(件数/人)

(%)

(施設収容人員
心身障害者数)

(ねたきり老人数
ホームヘルパー数)



将来の都市の問題点

附表 5

	鳩ヶ谷A	国分寺A	昭島A	新座A	武蔵野A	大和A	草加A	三鷹A	平塚	日立	川越	宮崎	山形	豊田	岡崎	八戸	福井	明石	奈良	一宮	清水	福島
自動車公害、過密、道路マヒ、交通公害	○			○				○	○	○	○		○		○	○	○		○		○	
ごみの処理																			○			
学校等公共用地確保・整備						○	○		○	○	○		○		○	○					○	○
住民サービス（住民運動）							○															
老人対策		○			○							○						○				
公害								○														
幼稚園不足																						
病院不足・赤字																						
住宅難・過小宅地の増大						○																
下水処理																						
政策費の減少（財源不足）	○																					
市庁舎収容能力の限界																						
生活用品対策・小規模店対策																						
余暇利用対策																						
子供の性教育、母子関係の正常化																						
都市計画の決定、施工困難（市街地再開を）	○	○						○					○				○	○				○
共同・互助精神欠除																						
農業対策												○										
管理職の質の低下																						
緑地公園		○	○			○				○								○		○		
水資源不足															○	○			○			○
人口抑制・集中スプロール化				○					○										○			○
歴史資料の散逸																						
地震対策																						
高層ビル消防力の低下																						
税の未納者増加																						
鵜沼耕地整理内権利関係マヒ																						
身障児者の増加、対策					○													○				
新幹線対策																						
市民参加の保障																						
交通の利便性											○											
工場用地の拡大傾向、企業誘致																	○			○	○	
生活環境の悪化（地価物価含）			○									○								○		
基地の存在			○																			

19

20

21

22

23

24

25

26

27

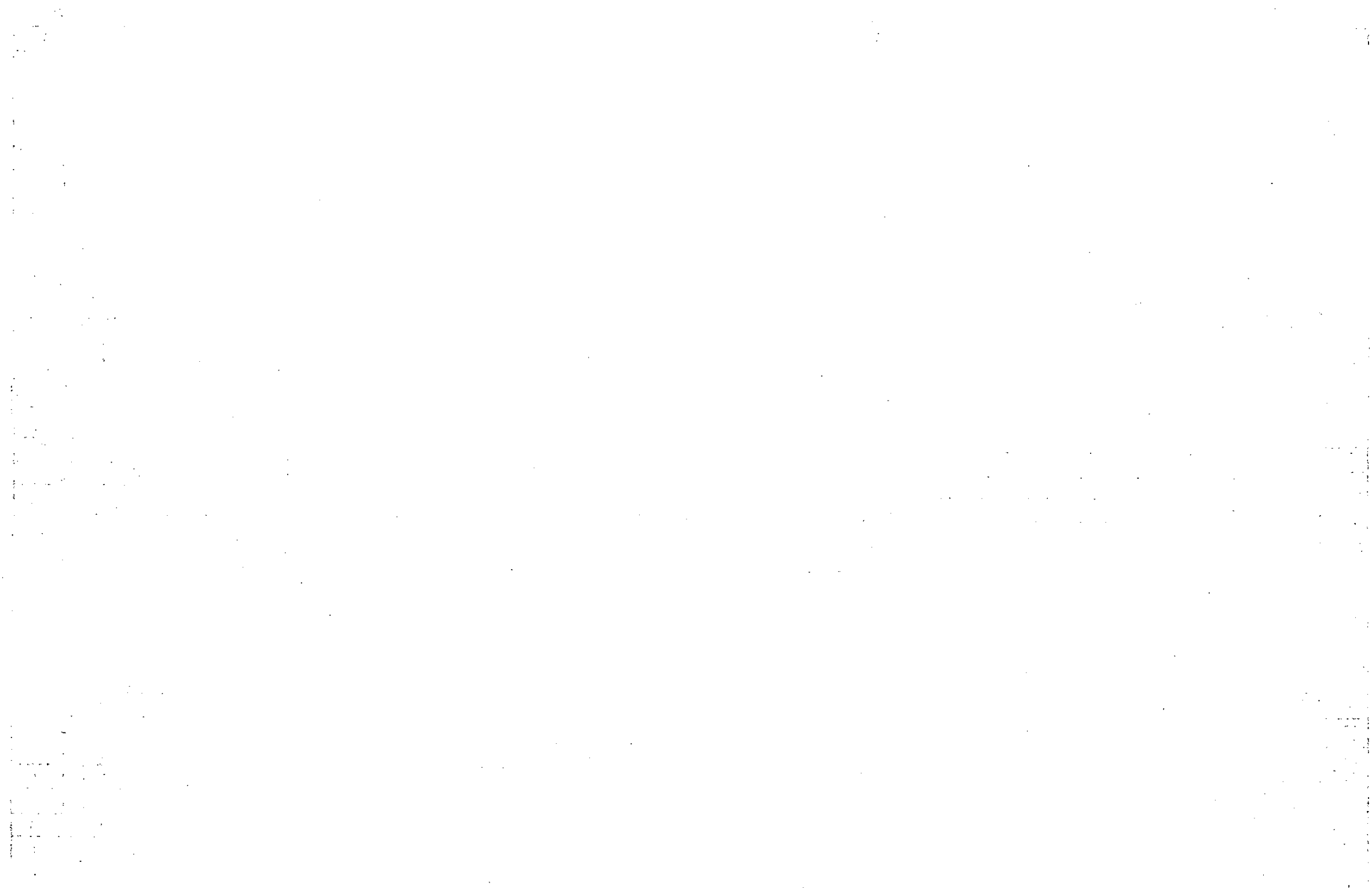
28

29

30

附表 5

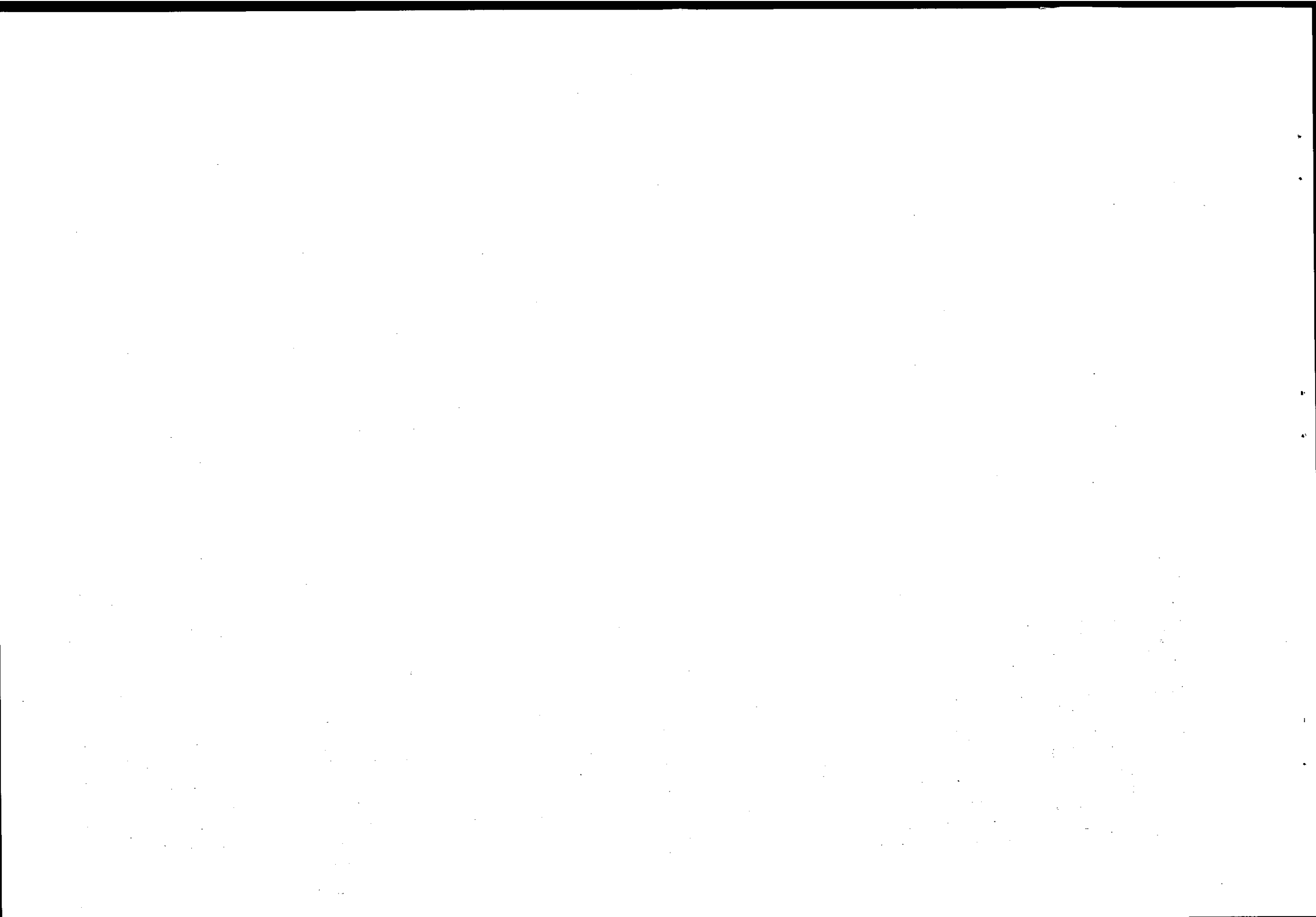
	町田A	八尾A	秋 田	藤沢A	牧方A	富 山	福 山	高 松	松戸A	浦 和	長 野	大 分	高槻A	宇都宮	旭 川	金 沢	船橋A	徳 島	函 館	大宮A	計	A B
自動車公害、過密、道路マヒ、交通公害			○			○	○	○				○		○		○				○	20	3 17
ご み の 処 理		○	○	○																○	5	2 3
学校等公共用地確保・整備		○		○	○								○				○			○	16	8 8
住民サービス（住民運動）																					1	1 0
老 人 対 策																					4	2 2
公 害												○									2	1 1
幼 稚 園 不 足		○																			1	1 0
病 院 不 足 ・ 赤 字																					0	0 0
住宅難・過小宅地の増大																					1	1 0
下 水 処 理															○	○					2	0 2
政策費の減少（財源不足）																	○				2	2 0
市庁舎収容能力の限界				○																	1	1 0
生活用品対策・小規模店対策						○															1	0 1
余 暇 利 用 対 策																					0	0 0
子供の性教育、母子関係の正常化																					0	0 0
都市計画の決定、施工困難（市街地再開を）			○									○	○	○	○			○	○		14	4 10
共 同 ・ 互 助 精 神 欠 除																					0	0 0
農 業 対 策																					1	0 1
管 理 職 の 質 の 低 下																					0	0 0
緑 地 公 園	○																				7	4 3
水 資 源 不 足							○														5	0 5
人口抑制・集中スプロール化	○					○		○	○					○			○				8	4 4
歴 史 資 料 の 散 逸																					0	0 0
地 震 対 策																					0	0 0
高層ビル消防力の低下																					0	0 0
税 の 未 納 者 増 加																					0	0 0
鵜沼耕地整理内権利関係マヒ																					0	0 0
身障児者の増加、対策	○																				3	2 1
新 幹 線 対 策																○					1	1 0
市 民 参 加 の 保 障					○																1	1 0
交 通 の 利 便 性																					1	1 0
工場用地の拡大傾向・企業誘致																					3	0 3
生活環境の悪化（地価物価含）															○			○			4	1 3
基 地 の 存 在																					1	1 0



シビル・ミニマムと福祉政策

附表 6

シビルミニマム	鳩ヶ谷	国分寺	昭 島	新 座	武蔵野	大 和	草 加	三 鷹	平 塚	日 立	川 越	宮 崎	山 形	豊 田	岡 崎	八 戸	福 井	明 石	奈 良	一 宮	清 水	福 島
制 定 の 有 無	×	×	○	×策定中	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×
市立保有所・民営充足率100~70%									○									○				
老人福祉センター・各種相談所・機能回復									○									○				
公 園 緑 地 確 保									○6m ² /人							○		○				
消防力の基準適合・整備(6分以内) 3分									○													
防犯街路灯設置とその補助(道路環境整理)									○													
生活環境施設S60年1人1日 580ℓ																○						
社会教育(蔵書1000人当り430円)																						
下水道普及率100%水洗便所普及率100%																○						
道路舗装率100%(歩道付設立)																○						
電話100人 40台																○						
ごみ処理 100%																○						
住 宅 1人当 7畳																○						
医師数 10万人 150人																○						
立体交差 90ヶ所																○						
宅地面積 1世帯300m ²																○						
小中校生1人当り6.0m ² 高校進学率95%																○						
福 祉 政 策	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	?	○	○
心身障害者の(医療費)助成条例		○		○	○		○		○		○	○	○	○		○		○	○			○
老人の " (その他福祉年金) 条例		○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	
特 別 児 童 福 祉 手 当 条 例		○							○													○
社 会 福 祉 法 人 の 助 成 "									○	○								○				
母子年金・母子寮条例・母子家庭医療費無料化									○										○			
遺 児 年 金												○	○	○	○			○				
乳・幼児の医療費無料化(助成)													○	○	○							○
私立保育園等の助成金				○																		
精神薄弱児通園施設設置・管理			○					○			○										○	
妊産婦(妊娠中毒症・糖尿)医療費無料化																						
公 益 質 屋			○																			
市立保育所設置							○												○			
老人看護人手当												○										
小規模公害見舞金												○				○						
市民交通傷害保険																○						
家庭保育条例							○															
市民医療費援護金								○														
福 祉 会 館								○														



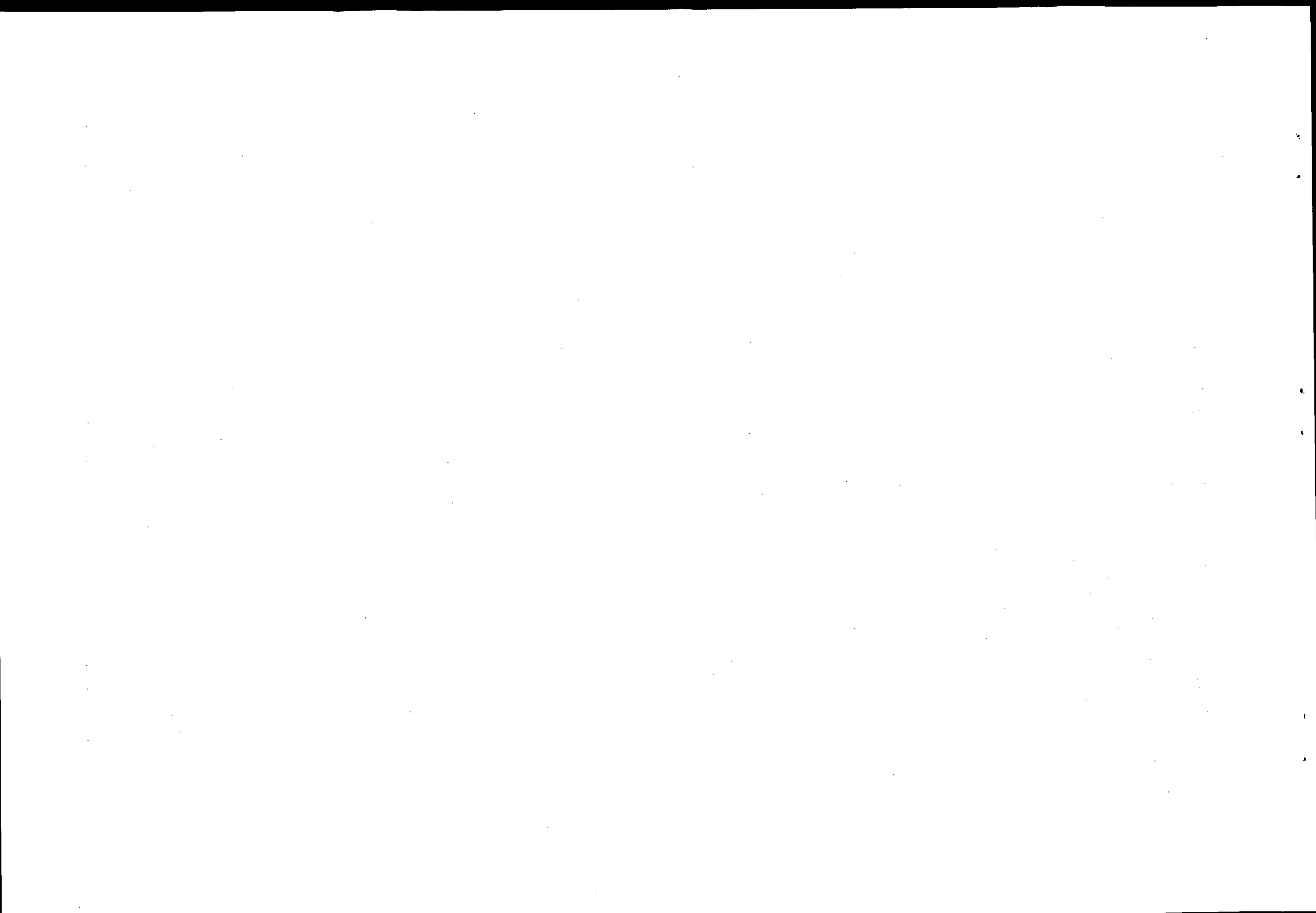
附表 6

シビルミニマム	町 田	八 尾	秋 田	藤 沢	牧 方	富 山	福 山	高 松	松 戸	浦 和	長 野	大 分	高 槻	宇都宮	旭 川	金 沢	船 橋	徳 島	函 館	大 宮	合 計			
制 定 の 有 無	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	△	×	×	×	×	×35	○7	
市立保有所・民営充足率100~70%															○							3		
老人福祉センター・各種相談所・機能回復																						1		
公 園 緑 地 確 保						○																4		
消防力の基準適合・整備(6分以内) 3分						○																2		
防犯街路灯設置とその補助(道路環境整理)						○																2		
生活環境施設 S60年1人1日 580ℓ						○																2		
社会教育(蔵書1000人当り430円)						○									○							2		
下水道普及率100%水洗便所普及率100%															○							2		
道路舗装率100%(歩道付設立)																						1		
電話100人 40台																						1		
ごみ処理 100%																						1		
住 宅 1人当 7 畳																						1		
医師数 10万人 150人																						1		
立体交差 90ヶ所																						1		
宅地面積 1世帯 300㎡																						1		
小中学校生1人当り60㎡ 高校進学率95%																						1		
福 祉 政 策	?	○	×	○	×	○	○	○	○	○	?	○	?	○	○	○	○	○	○	○	○	○34	×4	?4
心身障害者の(医療費)助成条例		○		○		○	○	○	○			○		○		○		○	○			24		
老人の＃(その他福祉年金)条例		○		○		○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○		31		
特別児童福祉手当条例								○							○		○					6		
社会福祉法人の助成＃															○							4		
母子年金・母子寮条例・母子家庭医療費無料化																		○	○			4		
遺 児 年 金							○	○	○					○	○		○		○			12		
乳・幼児の医療費無料化(助成)								○		○				○			○	○	○	○		11		
私立保育園等の助成金									○								○					3		
精神薄弱児通園施設設置・管理										○												5		
妊産婦(妊娠中毒症・糖尿)医療費無料化						○								○								2		
公 益 質 屋																						0		
市立保育所設置																						3		
老人看護人手当																						1		
小規模公害見舞金																						2		
市民交通傷害保険																		○		○		3		
家庭保育条例																						1		
市民医療費援護金		生活援助 資金貸付	○												生活援助 資金貸付							1 1 資金貸付		
福 祉 会 館														○								2		

都市のビジョンについて

附表 7

	鳩ヶ谷A	国分寺A	昭島A	新座A	武蔵野A	大和A	草加A	三鷹A	平塚	日立	川越	宮崎	山形	豊田	岡崎	八戸	福井	明石	奈良	一宮	清水	福島
緑の市緑と文化それは …… 市	○	○		○			○		○	○		○			○			○			○	
総合的市民文化リクリエーションセンター														○						○		
駅周辺交通網整備・新交通システム									○				○		○				○			
下水道完備						○													○		○	
市政への市民参加・組織充実					○				○													
地域環境整備・住宅建設				○		○					○					○						
学園都市へ																						
主要道路舗装歩車道分離																			○			
河川浄化															○							
都市と(農業)との調和(産業との)	○		○							○	○		○農	○		○	○					
人口の適正配置																						
ゴミ対策																						
コミュニティ計画の達成	○																					
老人・福祉対策							○					○										
心身障害者・福祉							○															○
市立幼稚園																						
社会教育の充実																						
自動車公害撲滅																						
広域市政の拡大・能率化													○									
県・市による教育二重行政の解消																						
都市計画決定権の市長全面委譲																						
外国派遣研修の恒常化																						
社会体育																						
「すくやる課」にする市民本位の政治																						
自分のものは自分で処理する運動																						
消費流通機構改革																						
生活安全	○	○		○	○		○				○	○						○				
江ノ島片瀬海岸再開発																						
														○								
都市機能の充実(地方中核)											○	○		○			○					
生活優先の都市環境の整備										○								○		○		○
各種土地の集約化・再開発					○																○	
老朽校舎の解消																						
公共施設整備																						



附表 7

	町田A	八尾A	秋 田	藤 沢	牧 方	富 山	福 山	高 松	松 戸	浦 和	長 野	大 分	高 槻	宇都宮	旭 川	金 沢	船橋A	徳 島	函 館	大宮A	計	A
緑の市緑と文化それは …… 市		○	○					○						○	○		○	○		○	18	7
総合的市民文化リクリエーションセンター											○										3	
駅周辺交通網整備・新交通システム			○																		5	
下 水 道 完 備		○												○				○			5	
市政への市民参加・組織充実																					2	
地域環境整備、住宅建設														○			○		○		7	4
学 園 都 市 へ																					0	
主要道路舗装歩車道分離																					1	
河 川 浄 化																					1	
都市と(農業)との調和(産業との)												○			○						10	2
人 口 の 適 正 配 置																					0	
ゴ ミ 対 策																					0	
コミュニティ計画の達成																					1	1
老人・福祉対策						○	○	○			○						○				7	1
心身障害者・福祉																					2	
市 立 幼 稚 園																					0	
社 会 教 育 の 充 実								○													1	
自動車公害撲滅																					0	
広域市政の拡大・能率化																					1	
県・市による教育二重行政の解消																					0	
都市計画決定権の市長全面委譲																					0	
外国派遣研修の恒常化																					0	
社 会 体 育																					0	
「すくやる課」にする市民本位の政治																					0	
自分のものは自分で処理する運動																					0	
消費流通機構改革																					0	
生 活 安 全																					8	5
江ノ島片瀬海岸再開発																					1	
																					0	
都市機能の充実(地方中核)					○		○	○			○										8	1
生活優先の都市環境の整備							○					○									6	
各種土地の集約化・再開発						○															3	
老朽校舎の解消			○																		1	
公 共 施 設 整 備		○																			2	

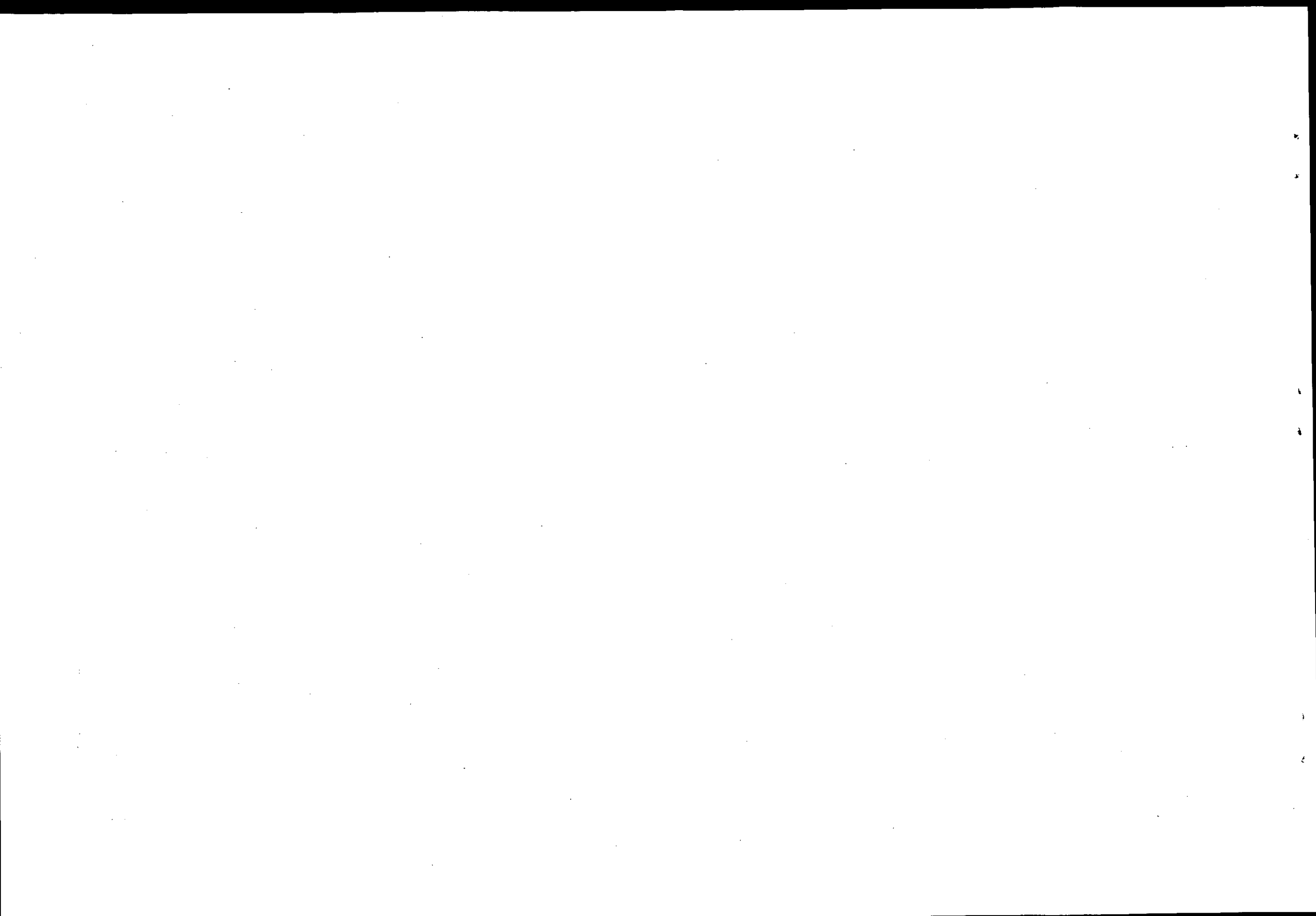
市 民 参 加 に つ い て

附表 8

ビジョン作成への市民参加	鳩ヶ谷	国分寺	昭島	新座	武蔵野	大和	草加	三鷹	平塚	日立	川越	宮崎	山形	豊田	岡崎	八戸	福井	明石	奈良	一宮	清水	福島
P R パンフレット				○	○							○	○	○	○							○
意識調査		○		○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○			○
公聴会							○							○	○							○
市民集会			○		○		○	○														○
市長との対話			○				○			○	○		○		○					○	○	
その他	○												○					○				
やっていない																						
利用方法																						
市長の立案参考			○	○			○	○		○	○	○		○	○		○	○		○		
担当者の "		○	○	○		○	○		○	○			○	○	○	○			○			
市議会決定の一要素	○			○																		
反応による修正、改正				○									○									
市民意志により市議会決定																						
その他					○																	
市民参加方法																						
市民アンケート		○										○	○		○				○	○	○	
市政モニター制度の採用	○		○												○							
市民憲章の制定	○			○																		
懇談会、相談室		○		○		○				○						○	○		○			
市長との対話	○		○								○	○	○									○
市民会議、集会					○									○								
ローリングシステム						○			○						○							
ローリングシステム	×						×	×			×	×							×		×	×
方法																						
市民アンケート		○		○																		
市長との対話			○																			
委員会設置、計画実施策定					○	○			○	○			○	○			○	○				
市議会意志 積極的			○	○			○			○									○			
参 考	○				○			○	○		○	○		○	○							
無 視																						
行 過 ぎ																						
そ の 他																						

附表 8

ビジョン作成への市民参加	町田	八尾	秋田	藤沢	牧方	富山	福山	高松	松戸	浦和	長野	大分	高槻	宇都宮	旭川	金沢	船橋	徳島	函館	大宮	合計
P R パンフレット			○	○	○	○		○		○	○			○				○			16
意識調査				○	○			○						○	○		○			○	22
公聴会				○											○		○			○	8
市民集会			○		○										○						8
市長との対話			○	○		○		○			○			○	○					○	16
その他	○		○	○							○		○		○			○	○		11
やっていない		○																			1
利用方法																					
市長の立案参考		○	○		○	○					○			○			○		○		20
担当者の "		○	○	○	○	○		○		○	○			○			○	○		○	24
市議会決定の一要素													○								3
反応による修正、改正					○																3
市民意志により市議会決定																					0
その他	○	○													○						4
市民参加方法																					
市民アンケート		○	○				○										○				11
市政モニター制度の採用							○										○				5
市民憲章の制定																					2
懇談会、相談室	○	○					○			○							○		○		13
市長との対話																					6
市民会議、集会				○		○									○						5
ローリングシステム								○													4
ローリングシステム		×				○	×			○	×		×				○	○	○	○	(×)12
方法																					(○)23
市民アンケート																					2
市長との対話																					1
委員会設置、計画実施策定	○		○		○			○						○	○				○	○	16
市議会意志 積極的			○	○	○	○			○		○						○		○		13
参考							○	○													10
無視																					0
行過ぎ													○								1
その他	○													○	○			○			4



ア ン ケ ー ト 調 査

1. 都市の沿革・特性について

1-1 貴市の市政施行時についてお知らせ下さい。 18 年 月

1-2 昭和33年／昭和48年を対比して、貴市の人口と都市の特性（就業人口数、所得等参考にして）について○印をつけて下さい。

A) 人口 昭和33年 万 昭和48年 万

B) 特性

☐	農業都市	☐
☐	工業 "	☐
☐	鉱業 "	☐
☐	水産 "	☐
☐	商業 "	☐
☐	観光 "	☐
☐	行政 "	☐
☐	住宅 "	☐
☐	その他 都市	☐

C) 人口密度 1 km² 当り 万 万

D) 人口構成

0～10 才	%	41～50 才	%
11～20	%	51～60	%
21～30	%	61 以上	%
31～40	%		

E) 人口流出入

昼間 8:00 ～ 6:00	流入	流出
夜間 6:00 ～ 8:00	流入	流出

1-3 昭和33年／昭和48年を対比して、貴市の市長及び市議会の特性について○印をつけて下さい。

市長	昭和33年		昭和48年
☐	自由民主党	☐	
☐	社会党	☐	
☐	公明党	☐	
☐	共産党	☐	
☐	民社党	☐	
☐	諸派	☐	
☐	保守系無所属	☐	
☐	革新系	☐	
☐	中立	☐	

市議会	昭和33年		昭和48年
☐	自由民主党	☐	
☐	社会党	☐	
☐	公明党	☐	
☐	共産党	☐	
☐	民社党	☐	
☐	諸派	☐	
☐	保守系無所属	☐	
☐	革新系	☐	
☐	中立	☐	

定員	名	昭和33年	昭和48年	名
☐	自由民主党	☐	☐	
☐	社会党	☐	☐	
☐	公明党	☐	☐	
☐	共産党	☐	☐	
☐	民社党	☐	☐	
☐	諸派	☐	☐	
☐	保守系無所属	☐	☐	
☐	革新系	☐	☐	
☐	中立	☐	☐	

1-4 貴市は戦災にあわれましたか。

☐	全部または大部分戦災にあった
☐	一部分戦災にあった
☐	ほとんど戦災にあわなかった
☐	全然戦災にあわなかった

1-5 貴市の48年度予算状態についてお知らせ下さい。

税 収 入		億 円
国庫補助金		"
そ の 他		"
計		"

1-6 貴市の都市としての基本的性格を示すものとして下記の指標をとりましたので、お知らせ下さい。

1-6-1 A) 下水道排水率 _____ % B) 浄化槽普及率 _____ %

1-6-2 上水道普及率 _____ %

1-6-3 国道一級道路(対面4車線以上) _____ 本

高 速 道 路 _____ 本

1-6-4 交通機関 ☐ 国 鉄 ☐ バ ス ☐ 私 鉄
☐ 地下鉄 ☐ 空 港

1-6-5 都市銀行数 _____ 行

1-6-6 A) 大企業(従業員300名以上、支店を含む) _____ B) 工場数 _____

1-6-7 団 地 ☐ 住宅団地 _____ ケ所
☐ 工業 " _____ ケ所
☐ 卸売 " _____ ケ所

1-6-8 A) 大学・短大数 _____ 校

B) 大学進学率 _____ %

C) 高校 " _____ %

1-6-9 公園面積1人当り _____ m^2

緑地空地面積1人当り _____ m^2

1-6-10 農家人口率 _____ %

1-6-11 A) 48年度市民所得額 _____ 億円

B) 1人当り市民所得額 _____ 円

1-6-12 コンビナート ☐ ある _____ コンビナート(例:石油コンビナート)
☐ なし

1-6-13 都市ガス普及率 _____ %

9

B) 総合病院数

C) 人間ドック数

D) 救急病院数

E) 心身障害者数 _____ と施設収容人員 _____

F) ねたきり老人数 とホームヘルパー数

1-6-16 交通事故発生数 件

“ 率（人口当り） %

1-6-17 ビックストア-数(百貨店・スーパー)_____

1-6-18 電話普及率（世帯当り）

1-6-19 投票率（最近の衆議院，県，市長）

1-6-20 犯罪率(全刑法犯罪率)

1-6-21 A) 競輪場 _____ B) 競馬場 _____

1-6-22 A) 被保護世帯 B) 被保護世帯率

1-6-23 市庁会館，公会堂	ある	ない
-----------------	----	----

1-6-24 スラム街 ☐ ある ☒ ない

1-6-25 ニュ-タウン ☐ ある ☐ ケ所 ☐ ない

1-6-26 商店街	ある	ヶ所	ない
------------	----	----	----

1-6-27 商業従事者率

1-7 貴市は他市の行政機関と比較して独自のもの、又は特色あるものと考えている課、部等がありましたらお知らせ下さい。（例、なんでもする課、生活課等）

1. _____

2. _____

3. _____

1-8 貴市の地価の推移をお知らせ下さい。

33 年 m^2 当り 円

38 年 m^2 当り 田

43 年 _____ m^2 当り _____ 円

48 年 _____ m^2 当り _____ 円

1-9 貴市の政策を推行する為に先行投資をどうお考えですか。

☐
☐

先行投資必要

☐

不必要

// している

2. 都市の現在かかえている問題点について

2-1 貴市で現在かかえている問題点を3つあげて下さい。

☐
☐
☐
☐

公 害

住民エゴ

事務繁雑化

財政不均衡

☐
☐
☐
☐

教育（保育所不足等）

住宅不足

土木施設

交通輻輳化

☐
☐
☐

人口増加

人口過疎化

その他（具
体的に）

2-2 貴市の問題点の一つとして公害をあげられた市はその性格についてお知らせ下さい。

☐
☐
☐

工 場

河川汚染

ヘドロ

☐
☐
☐

海水汚染

騒 音

臭 気

☐

その他

2-3 貴市の公害対策は解決にむかっておりますか、又は深刻化していますか。

☐

解決にむかっている

☐

深刻化している。

2-4 貴市の公害対策はどんなものか箇条書きして下さい。

（例，基準設置，罰則現，公害源の弁償金支出等）

1. _____

2. _____

3. _____

2-5 貴市は公害に対して住民運動がおきていますか。

☐ おきている ☐ おきていない ☐ おきる可能性大

2-6 貴市が将来かかえるであろうと思われる問題点を3つあげて下さい。

(例・特別市街地の超過密化)

1. _____
2. _____
3. _____

2-7 貴市は現在シビルミニマムを決めていますか。

決めていましたなら、その項目をお知らせ下さい。

☐ 決めていない ☐ 決めている

(例・老人福祉、公園1人当り2.8/m²等)

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

2-8 貴市は市条例による福祉政策を実施していますか。

☐ している ☐ していない

している場合は、その主たる政策を5つあげて下さい。

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

2-9 貴市は都市の成長過程でどのステージにいると思いますか。

- ☐ 成長中 ☐ 安定に向かっている ☐ すでに飽和状態
☐ 滞期に入っている。 ☐ まだ成長以前である
☐ その他

2-10 貴市は都市の成長の要因は何であると思いますか。3つあげて下さい。

1. _____
2. _____
3. _____

2-11 貴市はこれ以上成長するの必要を感じますか。その理由をあげて下さい。又成長するの必要がない場合には、その理由をあげて下さい。

3. 都市の新しいビジョンについて

3-1 貴市では長期計画（6年以上又は期限なし）、中期計画（5年以内）をおもちですか。（スローガンの類でもよい）

長期計画

☐
☐

ある

☐
☐

ない

中期計画

ある

ない

3-2 長期計画は一般にビジョンと呼ばれていますが、貴市の具体的ビジョンを3つあげて下さい。

（例、〇〇川を魚が住めるように浄化する：1980年）

ビジョン

実施目標年（決っていれば）

1. _____
2. _____
3. _____

3-3 貴市のビジョンの実現の見通しについてお知らせ下さい。（該当○印）

ビジョン	1	2	3
実現 確 実			
実現には多大な困難がある			
実現したいがむずかしい			
実現する方向より現状は実に悪化している			
実現は現在不可能			

3-4 貴市の中期計画において、中期ビジョンと思われるものを箇条書にしてください。

（例、全市上水道普及 100% 1975年実施年限）

1. _____
2. _____
3. _____

4. _____

5. _____

3-5 貴市のビジョン作成にあたり、市民の参加をどのような手段で行なっていますか。

☐	PRパンフレット
☐	意識調査
☐	公聴会
☐	市民集会

☐	市長との対話
☐	その他
☐	特別にやっていない

3-6 上記の手段はどのようなチャンネルで吸収して作成に資していますか。

☐	市長の立案の参考
☐	市役所担当者立案の参考
☐	市議会決定の一要素

☐	市民の反応により市当局 又は市議会で修正、改正
☐	市民のある%以上の結論 をもって即市議会の決とな っている。
☐	その他 _____

3-7 これからの市政はより一層市民の直接参加を必要としてくる傾向がありますが、貴市ではいかなる方法で市民の自治への参加を考えていられますか。具体的にあげて下さい。

(例、ローリングシステム)

1. _____

2. _____

3. _____

4. _____

3-8 一部の市では、市の予算、計画についてローリングシステムと称してその見直し、修正を行う方法をとっていますが、貴市ではローリングシステムを行っていますか。

☐

行っている

☐

行っていない

3-9 行っている市では具体的にどのような方法で行っているかお知らせ下さい。(例、市民アンケート等)

3-10 貴市では市議会は市民直接参加、意思の決定についてどのような取扱いをしていますか。

☐

積極的に取扱う

☐

市民直接参加は行過ぎである

☐

参考にするだけ

☐

その他

☐

無視

3-11 貴市では住民エゴの問題がおきていますか。

☐

おきている

☐

おきていない

3-12 おきていれば、その問題をお知らせ下さい。

(例、ゴミ処理問題、パイプライン敷設問題)

1. _____

2. _____

3. _____

請求 番号		日 48-11 ア		登録 番号			
著者名 日本情報開発協会							
書名 新しい都市ビジョンの エージェント調査報告							
所属	帯出者氏名	貸出日	返却 予定日	返却日			

